

# 10周年記念誌

鳥取青年会議所





## 鳥取市民憲章

- 一、 わたくしたちは、だれにも  
親切にしましょう。
- 一、 わたくしたちは、正しい  
時間を守りましょう。
- 一、 わたくしたちは、まちに  
緑を育てましょう。
- 一、 わたくしたちは、公共場を  
大切にしましょう。
- 一、 わたくしたちは、清潔な  
環境を作りましょう。

◆ 1969年度日本JCスローガン◆

## Jayceeの総意でしめせ日本の姿勢



### 綱 領

われわれ JAYCEEは  
社会的・国家的・国際的な責任を自覚し  
志を同じうする者相集い力を合わせ  
青年としての英知と勇氣と情熱をもつて  
明るい豊かな社会を築き上げよう

### The Creed Of Junior Chamber International

*We Believe:*

*That faith in God gives meaning and purpose to human life;*  
*That the brotherhood of man transcends the sovereignty of nations;*  
*That economic justice can best be won by free men through free enterprise;*  
*That government should be of laws rather than of men;*  
*That earth's great treasure lies in human personality; and*  
*That service to humanity is the best work of life.*



## 目

## 次

			ページ
ごあいさつ	理 事 長	中尾 喬一	2
”	実 行 委 員 長	山本 富二	3
祝 辞	日本青年会議所会頭	牛尾 治朗	4
”	” 副会頭	米原 正博	5
”	中国地区協議会会長	黒瀬 知周	6
”	鳥 取 県 知 事	石破 二郎	7
”	鳥 取 市 長	高田 勇	8
”	鳥 取 市 議 会 議 長	網師 銀蔵	9
”	鳥取商工会議所会頭	米原 穰	10
鳥取の名所旧跡案内			11
特別座談会（歴代理事長大いに語る）			21
思い出のアルバム			31
10年のあゆみ			39
鳥取青年会議所歴代役員名簿			42
会員名簿			45
特別会員名簿			59



## ご あ い さ つ

鳥取青年会議所

理事長 中 尾 喬 一

創立十周年記念誌を発刊するにあたり一言御挨拶申し上げます。

鳥取青年会議所は、昭和34年、明るい豊かな社会を実現し、鳥取地域の秩序ある繁栄と発展の推進力とならんとするたくましい47士の「若い力」が、同志的共感を持って結集して創立されました。創立以来、地域社会に密着した活動を展開し、幾多の試練を経てここに満10周年の記念すべき日を迎えることが出来ました。これも今日まで御指導、御援助下さいました諸先輩、会友の皆様方のおかげと深く感謝申し上げます。

日本を取りまく激動す世界環境と変ぼうする産業社会の中であって、国家的合意と決断に迫られる1970年を目前に控え、私達JAYCEEの責任は、地域社会におけるオピニオンリーダーとして益々重大となって参りました。この時に当り過去10年間の歩みを回顧し、これを一つの転機として、青年指導者としての厳しい使命観に燃え自らに厳しい企業人としての修練を積み、すぐれた行動力の上に英知と勇気をもって人類の輝かしい未来に挑戦するJC運動を展開すべく努力する次第であります。

いまこそ青年会議所の真価を世に問うときがきたことを再認識し、輝やかなしい成果をあげるべく、ダイナミックな思考力と公正な行動力と、未来に挑戦する心をもって、市民社会の期待に応えなければなりません。

会員諸兄の奮起を望んでやみません。終りに、本日まで御援助を頂きましたスポンサー米子青年会議所並びに地域関係諸団体に心より感謝の意を表し、ご挨拶と致します。



## ごあいさつ

鳥取青年会議所  
10周年記念式典実行委員長

山本 富二

鳥取青年会議所満10周年の誕生日を迎えるにあたり、地元各界、又、全国の青年会議所会員のご支援に対して厚く御礼申し上げます。時あたかも安保の前年に当り、私達若者の行動の一挙手一動を、日本人総ての人がいや全世界の人が見守っている様な今日の世界情勢にあって10周年の記念式典のあり方に、直剣な討議がなされたものであります。私等が今ここに合い集う事が、話合う事が、又、総てこの時間が一秒たりとも無駄な物であってはならないような思いがするのであります。願わくは、今回御参集頂いた会員諸兄に、この鳥取の10周年記念式典を通して、青年らしい未来への息吹きを汲みとって頂けるならば誠に幸せに存ずる次第であります。

鳥取青年会議所では、昭和41年、社会開発計画に着手、自己の修練を基盤にした行動を開始し、現在に至る迄追跡調査を行い、常に市民の描く明日の鳥取を求めて参りました。又、同じく昭和42年には、鳥取青年会議所は日本青年会議所の指導のもとに、静から動への行動も開始しました。いよいよ私達若者が地域社会に於て、リーダーシップを取る時が来たのです。「ひらけゆく鳥取」を合言葉に全員が政治問題に、地域の開発に、そして福祉国家理念を目指し、大きな誇りと自信をもって進んでまいりました。

今日、日本が求めて居る物は何か、其れは指導者作りだと思います。私達一人ひとりが其の一人であるとの自覚を新たにして、今後行われますあらゆる大会が地域社会に密着した物であり、各地域社会の発展に寄与し、それが日本の進歩発展につながり、又更に大きく世界平和への掛橋となる事を祈り乍ら、私の挨拶にかえさせて頂きます。





## 鳥取青年会議所創立10周年祝辞

日本青年会議所

会 頭 牛 尾 治 朗

鳥取青年会議所の栄えある10周年記念式典ならびに記念誌の発刊を、全国の会員諸兄とともに心からお慶びを申し上げます。

鳥取青年会議所が、創立以来地域社会の開発に多大なる貢献をされつつみごとに10周年の節を刻まれたことに深く敬意を表す次第です。

青年会議所運動は、「今日を明日の黎明」と考え、未来のために今日の我々が犠牲をはらって行動する、ボランティアの自発的な運動——達成した成果を権力や利害に結びつけない——常に黎明に生きる運動であります。鳥取青年会議所の10年の歴史は、この姿勢を厳しく保つことによってこそあり得たものと確信しております。

ご承知のように日本青年会議所運動も20年を経た今日、貴青年会議所をはじめ全国各地のメンバー及び先輩諸兄の英知と情熱によって、今や408都市、3万名の大組織となり得ましたが、これからは特に各地の青年会議所の実行運動こそが、民間団体としての運動を支える行動のエネルギーであります。

市民社会の、青年指導者に対する期待は、そのダイナミックな思考力と、公正な行動力と、未来に挑戦する心にあります。鳥取青年会議所の会員の皆さんが、総意と英知を結集させて、10年の歴史の上に、個性あふれる新しい創造のページをつくられることを希ってご挨拶いたします。



## 10周年祝辞

日本青年会議所

米原正博

鳥取青年会議所創立10周年記念式典ならびに10周年記念誌の発刊を衷心よりお慶び申し上げます。

われわれの住む鳥取の街を少しでも明るく豊かな街にしようと集ってより早くも10年、鳥取青年会議所はその地道な歩みを一步一步進めることにより、いまや社会の期待にこたえうる最も清新な活動力にあふれた組織体として大変高く評価されるにいたりました。

この10間に亘る運動の成果は今回の10周年記念に発表された社会開発計画の推進状況にもその一端がうかがわれますが、今日に至るまでの鳥取青年会議所活動を着実に指導してこられた諸先輩のご努力に対しては改めて深甚な敬意を表する次第であります。

若い経済人の同志的結合によって築き続けられた青年会議所運動は70年代に突入せんとする今年に至って、その全国的な結束力、行動力、をきわめて高く評価され、社会の各層より期待が急速に拡大されてまいりました。

このことは青年会議所運動が発展する歴史の中にあってその組織が永遠に若さを保っており、この若さによってくる豊かな創造性と、清新な行動力が現代の社会正義を実現するために不可欠のものであるとして期待をされているからであります。

われわれ青年会議所が、このような社会の期待にこたえて行くためには、変革の時代といわれる70年代の経済社会に即応できる青年経済人としての研鑽をより一層続けると共に、地域社会の世論に立脚した勇氣ある提言と行動を着実に起こして行かなければなりません。

鳥取青年会議所が今日の光輝ある10周年記念式を契機として全会員の総意を結集されさらに一段と充実した運動を展開されますようお願いして祝辞といたします。



## お よ ろ こ び

日本青年会議所中国地区協議会

会 長 黒 瀬 知 周

鳥取青年会議所の創立10周年を、心よりお慶び申し上げます。中国地区2500有余の会員諸兄とともに、衷心よりお祝いたします。

昭和34年、日本J C登録 156 番の認承証を受けられてから、今日にいたるまで、貴青年会議所はとどまることなく常に前進を続けてこられました。この10年間のあゆみは、常にその地域社会に、時代に適応した活動を展開され、住民と密着した活動は、高く評価されているところであります。

初代金田理事長から歴代理事長、先輩諸兄、会員のみなさまのご苦勞と、ご努力と、その創始の精神は、今後10年先、20年先により光り輝やくであろうと確信するとともに、深甚なる敬意を表するものであります。

この良き先輩諸兄の後継者としてのみなさまは、J Cを単なるJ Cとして終わらすことなく、永遠に続くJ C活動が、さらに内容の充実した価値ある鳥取J Cとして、引継がねばならない重大な責任と自覚を新たにせねばなりません。10周年を一つの節として、謙虚な気持で過去を顧りみ、反省から更に発展への道を拓く、そこに創立記念行事の意義があると思えます。

鳥取青年会議所は、過去に浜崎中国地区協議会長を送られております。そして来年度、1970年—日本J C会頭に、米原副会頭が選出されましたことは、ただ単に鳥取のみならず中国地区全会員にとっても誠に喜ばしいことであり、名誉なことでもあります。

1970年は安保の年であり、万博会催の年、そして福岡においてJ C I アジア会議が開催されます。J Cにとっても、日本の将来にとっても、大きな転換期を迎えんとする、最も重大な年であります。

われわれ全会員一体となって、来年は米原会頭を先頭に、よりよき日本のために邁進することは勿論であります。母体である鳥取J C自らより一層のご努力をお願いし、10周年のご挨拶といたします。



## 祝 辞

鳥 取 県 知 事

石 破 二 朗

鳥取青年会議所創立、10周年記念に当り一言お祝いの言葉を申し上げます。

鳥取青年会議所は、昭和34年1月発足され、爾来10年を経過し、今日を迎えられたのでありますが、この間、会員各位におかれましては、社会への奉仕、個人的修練、世界との友情の三つの理念のもとに若い情熱と力を結集され幾多の困難をよく克服され、地域社会の発表に大きく寄与されましたことは、過去の輝かしい業績が実証しているところであります。県民ひとしく感銘いたしているところであります。

わが国の経済は飛躍的成長を遂げて国民生活も一段と向上しておりますが、今日このような経済の発展をみましたことは、皆さんのような若い経済人のご努力が大いに貢献しているものと確信しており深く敬意を表する次第であります。

ご承知のとおり、昨今の経済環境は、資本自由化への本格的移行、発展途上国の追い上げ、およびこれに対する特惠関税供与の問題、さらには、労働力の不足、技術革新、情報革命の進展また、最近における産業再編成の動きなど誠に流動的にして一段ときびしさを加えようとしております。

とりわけ、中小企業の多い本県経済にとりましては、誠に多難な経済環境に立たされることが予想されます。

従いまして、これに対応するためには抜本的な企業体質の改善が強く要請される所ありますが、これがためには経済豊富な先輩諸氏の力に俟つところ勿論であります。何と申しましても覇気と春秋に富んだ有能な会員各位の英知と勇氣に期待する所甚だ大きいと申さねばなりません。

会員各位におかれましては、現今のきびしい経済環境を直視され理事長の下に一致協力、一段と研鑽努力され経済の発展と明るい豊かな社会の建設へ貢献されますことを念願いたしまして甚だ粗辞ではあります一言所懐の一端を述べてお祝いの言葉といたします。



## 鳥取青年会議所発足10周年祝辞

鳥 取 市 長  
高 田 勇

鳥取青年会議所発足10周年誠にありがとうございます。10年一昔といいますが、この鳥取青年会議所が、社会的、国家的に責任を自覚され、英智と勇氣と情熱をもって明るい社会を築き上げようと過去10年間会員一丸となって努力を惜まず邁進されましたことに哀心より敬意を表する次第でございます。

現代の世相は日増しに我々の生活水準を限りなく向上させており、明るく楽しく見える社会も、裏にはまだまだ恵まれない人々が数多くあることを忘れてはなりません。

私も市民の多数の人々の要望をになって市長に就任しまして10年、市民が幸福で明るい生活が楽しめる事を願い微力ではありますが日夜努力を重ねているところでございますが、現在の世情の中であって民主社会の観念をはきちがえる人々の多い時、奉仕、修練、友情を信条とされ福祉国家の建設に貢献しようと日夜心痛しておられます会員皆様方の努力に対し重ねて敬意を表する次第でございます。

J Cの皆さんどうかこの10年を契機に一層奮起されまして福祉社会の建設に努力されます様お願い申し上げ鳥取青年会議所が将来益々発展されますことを心から祈念して御祝いの言葉といたします。



## 祝 辞

鳥取市議会議長

網 師 銀 蔵

鳥取青年会議所設立10周年誠におめでとうございます。記念誌発行に当り編集氏から拙文を寄稿せよとのお申しつけをうけましたが、もとより浅学の私でございますので大変困惑いたしておりますが一言お祝いのご挨拶を申し上げます。

近年社会状況は急速な発展を遂げ、経済の面をみましても日本は国民総生産世界第二位という驚異的な伸びを示してまいりました。これは日本人の誇りとする勤労、勤勉の精神の賜であろうかと存じます。しかしこれのみをとって誇るには早計の感があるやに存じます。社会福祉の問題一つをとってみましても、児童、老人、医療等々各福祉対策はまだ十分とはいきえず、これから努力しなければならない重要な問題でございます。

幸い青年会議所諸氏にはこれらの問題等にも、真剣にとりくまれ種々その活動を進めておられるようでございますが心から感謝し敬意を表する次第でございます。宇宙時代となった今や月は人間の科学の力によって征服されるどころとなったのでございますが、この地球上の各所では血なまぐさい紛争が絶えず、世界平和は程遠い感がございます。しかしあらゆる分野の若くして指導的立場で活躍されておられる会員諸氏はその活動の場を世界に拡げ、国際的見地から親善、信頼を押し進めておられますので近い将来この成果が顕われることであろうと期待しているものでございます。

どうか今後とも産業、経済、文化の向上にご尽力賜わりまして地域社会ひいては国際社会推進のために一段のご活躍をお祈りし甚だ簡単でございますが発刊に当り私のお祝いのご挨拶に代えさせていただきます。



## 祝 辞

鳥取商工会議所

会 頭 米 原 穰

鳥取青年会議所の10周年ならびに10周年記念誌の発刊を心からお祝い申し上げます。

鳥取青年会議所は現在会員71名をようし、鳥取という特殊性を背景とする当地方に拡大を続け、盛りあげてこられた会員各位のご努力、その果さんとされる責務に、私は深い敬意を表するものであります。

J.Cは40才の年齢制限をもうけて、常に「若さ」にあふれ、指導者層も年々新陳代謝をして、新進気鋭であるのが、最大の特殊性であります。その「若さ」により良きものをもとめ、当地方における商工業の伸展は勿論、社会福祉、市民生活の向上等に大きな役割りを果されているのであります。

勿論、過去10年における輝かしい業績は数多くいずれも心から敬意を表するものであります。常に理想の探究に燃ゆるがごとき、堅固な信念と情熱をもって当地産業の振興に鋭意努力を傾注され、青年会議所本来の目的に精進を重ねられますよう念願致す次第でございます。

どうかこの記念すべき実りの秋を契機とされ、益々大きく飛躍されますことを会員各位に期待する次第でございます。

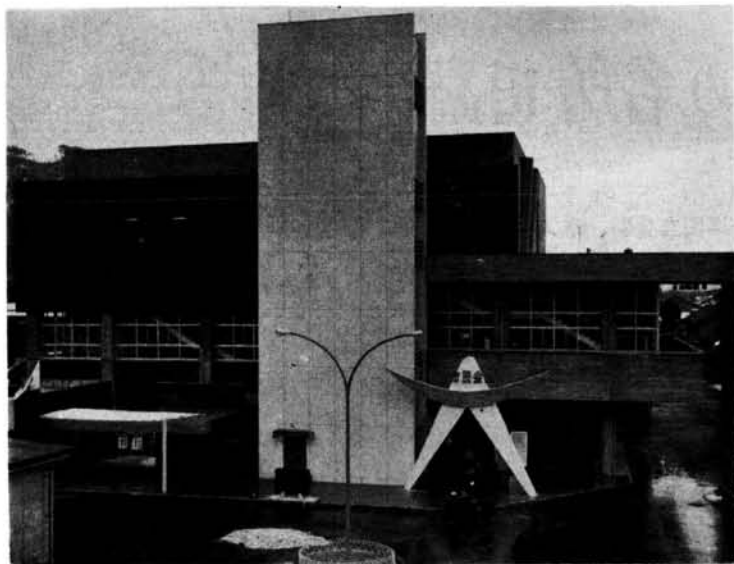
# 鳥取の名所・旧跡のご案内

- ◇……鳥取は山陰海岸国立公園、氷ノ山、後山、那岐山国定公園をは……◇
- ◇……じめ、すぐれた自然景観および幾多の文化財に恵まれ多彩な観……◇
- ◇……光資源をもっています。……◇
- ◇……吾々はこの恵まれた観光資源の開発には、健全なリクレーシ……◇
- ◇……ョン、リハビリテーションの場として、人間と自然との調和的……◇
- ◇……開発を図らねばならないと考えます。……◇



鳥取県庁（鳥取市東町）鳥取駅から1350mバス約5分、徒歩約20分 昭和37年8月竣工





鳥取市民会館（鳥取市掛出町）鳥取J C 5周年実行委員会によるチャリティーショーなどで設立の気運が盛り上がり、昭和42年1月立派に竣工しました。



鳥取市役所（鳥取市尚徳町）鳥取駅から約1,000mバス約3分徒歩約15分昭和37年10月竣工



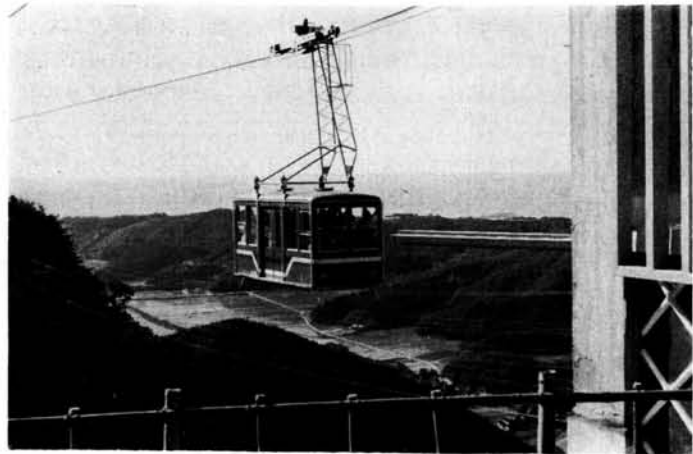
**鳥取空港** 市内から車で約15分の湖山地内砂丘地に、42年7月31日第3種県営鳥取空港としてオープンした。滑走路1200メートル、巾30メートルで現在鳥取一大阪定期便フレンドシップ機（40人乗り）が一日二往復就航、ほぼ満席の利用状況となっている。32年に旧軍飛行場を修復して開港したが利用客が少く、33年休港。その後この空港より約500メートル北の日本海寄りに現在の空港を新設したもので、一階鉄筋建て（屋上展望台）空港ビルは田園内のスマートな近代建て物として美しい。

**鳥取市街** 県庁所在地の城下町でもの静かな町であったが昭和18年の大震災と同27年の鳥取大火でいためつけられた。然し不死鳥のように立ち上がった市民は都市計画に基く工事を進め現在の不燃近代都市を築き上げた。鳥取平野には太古沼沢が多く、その水辺に集る野鳥を捕え、猟をする人が多く住んでいた。この部民を鳥取部と呼んでいたところから鳥取の名が生まれたとも伝えられている。市内を若桜、智頭、鹿野の3主街道が貫きほかの街道は東西南北碁盤の目のように整理されている。人口10万8000人、戸数26,600戸、面積237平方キロ。





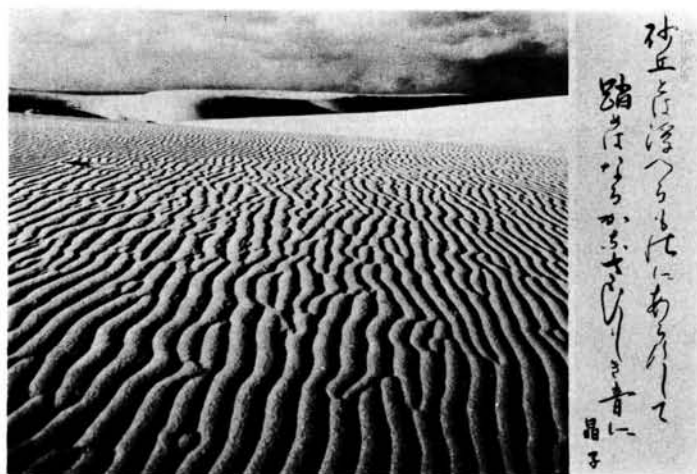
鳥取城跡（二の丸）市の背面にある久松山（標高264メートル）は別名「城山」と呼ばれ、城跡は現在石垣だけを残している。天正9年羽柴秀吉が鳥取を攻めたとき主将吉川経家は籠城5カ月、自ら一命を絶って開城を申し入れた。その後宮部善祥坊など城主が変わり元和3年池田光政が姫路から因伯32万石の城主として入部、主として二の丸に居を構えた。寛永9年光政は岡山に国替えとなり岡山から池田光仲がきて因伯兩國を治め以来12代明治維新まで続いた。山城の典型的城跡で有名。



久松山ロープウェイ 41人乗りゴンドラ2基が運行し、山麓駅舎から4分間で山頂（標高246メートル）山上の丸跡まで運ぶ。観光鳥取新名所の一つ。43年10月30日地域観光開発をねらって鳥城観光株式会社が総工費約2億円で着工、44年6月14日オープンしたもの。山麓駅舎は市内湯所の円護寺トンネル入り口に駐車場を整備した二階建ビルとして設けられ、支さく46ミリロープが623メートルの長さで頂上へ伸びている。将来山頂整備計画に併行し天守閣再現の動きもあり、鳥取市当局が文化庁など関係方面と折衝している。



**鳥取温泉** 全国でも稀にみる県庁所在地の鳥取駅付近一帯に湧き出る温泉で、鳥取砂丘その他への観光の拠点として便利な地位にあり、閑静でありますので湯治等、滞在にも好適です。



**鳥取砂丘** 東西約16キロ、南北約2キロの海岸砂丘。特色の第一は起伏量で、最高92メートルに及び日本では最も大きく、世界的にみても海岸砂丘としては濠州のキングアイランドに匹敵するものといわれている。また俗称スリパチといわれる大小の凹地の発達、美しい風紋や砂簾（れん）などの標式的発達は生きもののような生態をみせ観光のみならず、学術的にも研究対象となっている。砂丘独得の植物ハマボウフラなど生育、鳥大砂丘研究所のチューリップ畑は観光客の目を奪う。

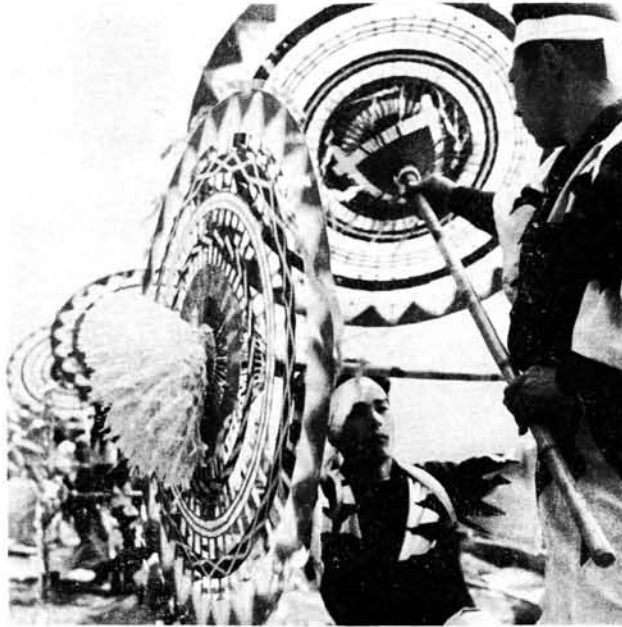
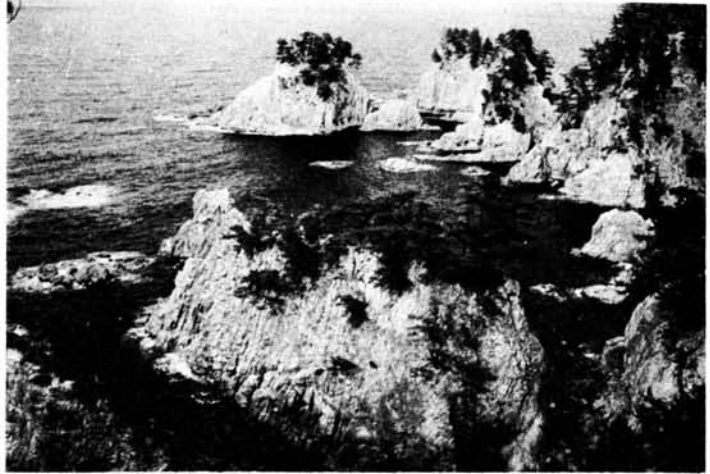


**湖山池** 市内の西部にあり、東西4キロ、南北2.4キロ、面積6.8平方キロ、周囲16キロの湖沼、朝に金波、夕に錦波の湖面は、その昔湖山長者が田植を一日で終らせようと沈まんとする太陽をさし招き、三段ばかり後戻りさせたという伝説を秘めている。湖畔には羽柴秀吉鳥取城攻めのとき千成びようたんを奮い取ったという勇将吉岡将監の防己尾（つづらお）城跡もあり、近くの吉岡泉温とともに近年観光名所として脚光を浴びている。鳥取大学は湖畔の環境随一の大学とし有名。

**白兔（はくと）海岸** 鳥取市内から1級国道9号線を西へバスで30分の海岸地点。「大きな袋を肩にかけ大黒さまがきかかると……」の神話<sup>\*</sup>大黒さま、の歌碑（鳥取出身田村虎蔵作曲）が建っている。白兔海岸の神話はあまりにも有名である。山陰の代表的な海水浴場の一つでもあり、気高岬の先端から眺める日本海と鳥取大砂丘の展望はとりわけ素晴らしい風景。天然記念物ハマナスの自生南限地帯、また近くの白兔神社の樹叢も天然記念物。散策に好適。



**山陰海岸国立公園** 京都府、兵庫県、鳥取県にまたがって日本海に面しており、鳥取県の区域は岩美郡岩美町陸上鼻を県境として西の鳥取市浜坂砂丘・千代川河口東2600メートルまで25キロの軀幹海岸。長年の風波によって浸蝕された奇岩怪石や、また洞門、洞窟、岩脈がところ狭しと並び稀にみる奇観である。また規模その雄大さで全国的に知られる鳥取砂丘はこの国立公園の最西端にあり大自然の美を誇っている。



**傘おどり** 昭和27年3月文部省から無形文化財に選定された全国でも独特の地方民踊で、美しく彩った長柄の傘に数十の小鈴がつき、白鉢巻に白ダスキの凛々しいでたちの若人が歌に合わせて踊る姿は雄壮活潑。踊りの起源は、その昔郊外美敷（岩美郡国府町）の五郎作という老農夫が大旱ばつにあって作物が枯草のようになったとき、3日3晩冠笠を振って雨乞いの踊り続け、靈験の大雨で飢饉は救ったが、ついに不帰の客となった。村民が五郎作の霊を慰めてうら盆に始めた踊りが継承され今日の長柄の傘踊りとなった。



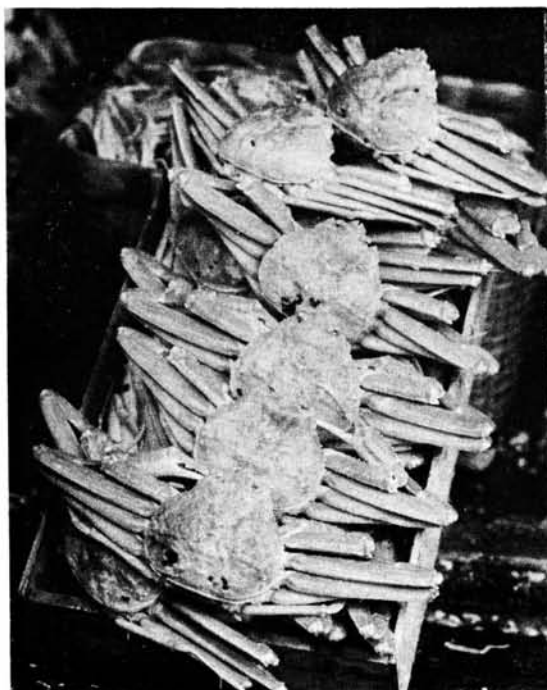
**樽谿（おおちだに）神社** 幽すいの気が満ちている市内上町の樽谿公園にある。というより境内を拡充したものがこの公園。神社は鳥取池田藩初代光仲が慶安3年幕府に願い出て日光東照宮の分霊を勧請して創建した別名「因幡東照宮」神門から随神門まで150メートルの石畳を杉の巨木が囲み、両側の石灯ろうの林立が美しい。拝殿、唐門、本殿の建物は昭和27年に重要文化財へ指定。また工事の総奉行は荒尾大和、大工棟梁は名工の名が高い木原木工尤。



**観音院庭園** 市内上町浄水道山の下谷合いにある池泉観賞式庭園。天台宗観音院の庭で鳥取藩池田光仲が備前岡山から転封のとき市内栗谷にあった寺院を上町に移したとき築造した。全庭園の約半分を池泉にとり、書院に面している。池中には蓬葉（ほうらい）庭園の様式を表現するため亀島を配している。鶴島のほうは全く失なわれている。東南に大規模の築山がありその絵画的景観は一大特徴京都風庭園の地方化したものの評で観光客が多い。

**流しびな** 足利時代のころから県東部地方で3月の旧節句に流しびなをする習慣がある。人の災厄を除くため人形を身代りとして流すわけだが、現在は郷土民芸玩具としても全国に有名になった。この流しびなは因州紙の赤紙を竹の骨に貼り頭は土でまるめ胡粉をおき顔を簡単にかく。男は金紙の冠を配し、女は髪を黒く衣裳は赤紙を首の竹串に貼りつけている、八頭郡用カ瀬町、鳥取市などでこの流しびなを「さん俵」か「おしき」にせ菱餅、おいら、モモの小枝などそえて流す風景はテレビの全国放映などで全国に知られている。

**松葉ガニ** 県の代表的水産物。11月1日が出漁解禁日で、日本海田後港から賀露港までの沖合6カイリ〜30カイリと隠岐島沿岸が漁獲の中心地。学名はズワイガニの雄のことで大きいものは甲らが12〜13センチで足が非常に長い。二杯酢、うす口醤油、ミソなど色々の食べ方があるが、その風味は格別。一番のシュンは1〜2月の厳冬で、こたつの中で一杯やりながらの味わいはこたえられないものがある。なお雌はオヤガニと呼ばれ甲らは7センチ前後で松葉ガニに比べ小さい。



**二十世紀ナシ** 鳥取県の特産とされ、栽培面積も全県下にわたり約2140ヘクタールを上回り秋の味覚の王座と自他ともにゆるしている。年産約55000トンでナシ全量では全国第2位、二十世紀ナシとしては量産、品質ともに日本一で、その9割は移出され、近年輸出もされ好評を博している。皮は薄く色に黄緑色で光沢がよい。出荷最盛期は8月下旬〜9月上旬。29年3月二十世紀ナシの花が「郷土の花」に選ばれた。県果樹試験場津ノ井分場裏山にナシの原木をご神体とした木の実神社がある。





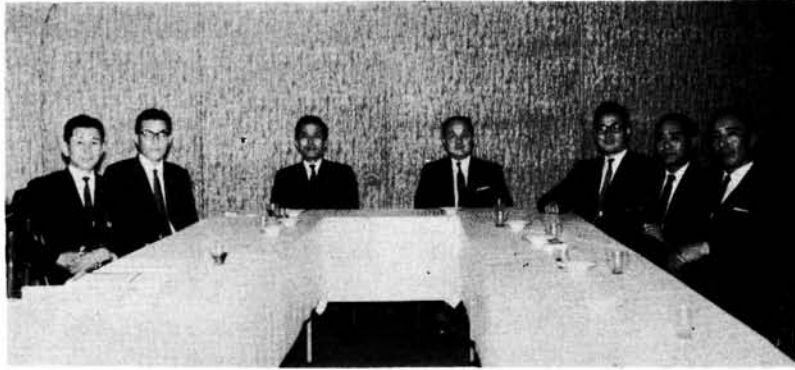
**荒木又衛門の墓** 市内新品治町の浄土宗玄忠寺の境内にある。山門すぐ左に金網を張った自然石の墓碑がそれで、いまも年中香花が絶えない。伊賀国荒木村の生まれの又右衛門は14才にして槍術の達人。寛永11年11月7日の朝、伊賀上野の西端、鍵屋の辻で河合又五郎を渡辺数馬（岡山藩士）に助力して迎え討った「伊賀越仇討」は曾我兄弟、赤穂義士の仇討とともに日本三大仇討といわれ講談、歌舞伎でも有名。寛永15年池田家は又右衛門と数馬を鳥取に迎え厚く遇したが又右衛門は8月28日没といわれている。

**後藤又兵衛の墓** 市内新品治町の曹洞宗景福寺境内にある。同寺は鳥取藩家老倉吉荒尾家の菩提所。後藤又兵衛基次は大阪城の勇士として名高いが、夏の陣には徳川家康の懇請をしりぞけ豊臣秀頼に味方し元和元年5月6日河内国道明寺で戦死した。年46才。一子為勝は2才、母のふとこにだかれて鳥取に亡命し成長の後池田光仲に仕えた。後藤の名字を遠慮し叔父の三浦を名乗った。為勝の子の正敏が祖父の勇名を追慕して建てたのがこの墓である。



# 特別座談会

## 歴代理事長大いに語る



### <出席>

1959年60年度	理事長	金	田	文	夫
1961年62年度	理事長	浜	崎	芳	宏
1963年度	理事長	山	根	幸	男
1964年度	理事長	坂	尾	裕	正
1965年度	理事長	西	尾	昌	之助
1966年67年度	理事長	亀	井	康	孝
1968年69年度	理事長	中	尾	喬	一
司会	10周年記念誌実行委員長	辻		敏	治



**中尾 鳥取J C歴代理事長の皆さん、**本日は暑さの折りまたお忙しいところご出席頂きまして誠に有難うございました。鳥取J Cは皆さま方ご活躍のあとを受け継ぎ、ことし10周年を迎える運びとなり

9月26日の前夜祭について27日記念式典を行なう段取りになりました。

申すまでもなくJ C活動は泉のように無限に続いてゆく運動でございますが、10周年を一つの契機として「1970年代のJ Cはいかにあるべきか」その方向づけなり、ご忠言なりを先輩の皆さま方から頂いて、私たちが今後歩むべき道

の一つの糧(かて)にさせてもらいたいと考えます。どうか腹臆なきご意見、或いはご経験をお話しいたいと思います。会の司会は委員長の辻君をお願いしています。

**司会** 理事長があいさつ致しましたとおり10年という一つの節(ふし)を迎えたわけでございます。この間メンバーもすっかりといっているほど入れ替わりました。そこでまずJ C設立当時の思い出、苦心談といったところを初代理事長さんから各順に語ってもらおうかと思えます。トップバッターとして金田さん……。

**金田** 鳥取J Cは10年前の34年1月25日に47人の会員でもって創立されました。その前年の8月に米子J Cが設立され、鳥取でもその気運



が盛り上がっていたことを思い出します。47人というのは「47士」のサムライにもなぞらえられ、鳥取の青年将校、またヤング・パワーとして大いに期待されたわけでございます。

初年度はまず会員の親睦を一つの重点に、いま一つは社会福祉つまり奉仕の面に目を向ける、この二つを運営の柱と致しました。いうまでもなく国際的なつながりのある組織体でございますから、これが認承証の伝達式、欧風というチャーターナイトでございますが、これも初年度の重大な行事でありました。9月19日に会員一体となってこれを挙行了したわけでございます。このほか思い出多いことはときの会頭が裏千家の千宗興氏、現在襲名されて千宗匠ですがこの方、また岡山の池田隆政、厚子ご夫妻（隆政氏は岡山J Cの特別会員）を来賓として迎え発足したことでございます。さらに12月16日に行ないましたクリスマス・パーティーで家族ともども祝福できたことも思い出として残ってい

るものです。J C理事長の任期は1年ですが、私は引き続き第2年度の35年も理事長をお受けすることになり、副理事長の浜崎さんともども留任致しました。真島さんは病気で替われ、チャーターナイトで大活躍された池内さんが副理事長になりました。2年度に入りますと落ち着いて参りまして、まず認承の記念時計塔を若桜橋のたもとに寄贈し、高田市長、鳥越商工会議所副会頭ほかのご出席を得、贈呈式を行ないました。また見聞を広めるという意味で大阪の国際見本市の見学を、同時に大阪J Cとの親睦交換も行ないました。さらに当時から交通事故は一つの社会問題であり、事故のない明るい社会をつくることをJ Cの大きい願いとし事故防止標示板を駅前寄贈しました。

また中尾・長尾両君がパリで開かれたJ C I（国際青年会議所）世界会議に出席され親善と視野を広められたことも特筆事項でございました。さらに中国地区の野球大会が岡山県民球場で行なわれ、鳥取J Cは準優勝まで勝ち進みま



した。忙しい皆さんが寸暇をさいて練習に励まれた結果であったわけでございます。最後に私はいま振り返っても間違いでない信じ、当時の大きい特色だとしているものに昼間に例会をもったということでございます。たとえば第三水曜日は例会、第二水曜日は役員会というものです。私たちの日常業務は日にちより曜日制で動いているという確信をもち皆さんの賛同を得て昼間例会のルールを敷いたわけです。当時の中国地区協議会会長 鴨井さん（倉敷J C理事長）が「昼間の例会でよく出席率が保たれますね。東京J Cと鳥取だけですよ」といわれたことを記憶しています。



この2年間理事長をつとめさせてもらい、36年には中国地区協議会の副会長として山陰地区のブロックを担当、この間非常に多くの方の友情とご支援を得て育ててもらいました。いまもって裏千家の千宗匠さん、或いは35年度J C会頭の石川六郎さんなどとは友情を深めています。例をあげれば限りがないのですが、このように大きい幸せ、楽しさを得たことを感謝しているものです。

**司会** ついで浜崎さん。浜崎さんも2代にわたりご尽力されたのですが……。



**浜崎** 金田さんのお話がありましたように、私は金田理事長当時2年続いて副理事長をつとめ、そのあと36年、37年度の2代理事をやらせてもらいました。

私は思うのですが、日本全国のJ C活動の歴史はだいたい3つの段階を経ている。すなわち設立当初のJ Cは若い人のサークル的性格、つまり友情を深め懇親を深めてゆくこと。第2次の段階はJ Cというものを一般社会へどのようにPRしてゆくか、そこに社会福祉事業の取り上げというケースが強く浮かび上がっています。第3次の段階は現在のJ C活動のように若い力を結集して地域開発、社会開発へそのエネルギーをぶつけてゆく、いま言うCDP（地域社会開発計画）活動といったもの。このような歴史的段階を経ていると思うのです。

そこで36、7年という私の3、4代理事の時期ですが、この当手を振り返ってみますと、私はこの3つをミックスしたような、すなわちメンバー同士の友情を深めることに努力し、若いエネルギーをぶつけて地域社会に奉仕し、また一般へ認識を得てもらうことにも力を尽くしたといった時代であったと思っています。同時にCDP活動は37年ごろからその芽生え、下地を持つにいたっていたと思っています。

この当時の事業の中で強く残っている印象のものをあげますと、まず青少年健全育成化をねらった少年野球大会があります。これは36年の発足で現在も引き続き行なわれているもので

す。当時は文部省の次官通達というもので、小・中校児童の対抗競技はまかりならぬという規制がありましたので学校単位でなく、子供会単位という苦心により、この壁を乗り越えてスタートしました。その後東京オリンピックなどでこの壁は緩和され、今日年々盛んになっていることを思うとき、この発足はいまなお感激をおぼえているほどのものです。また津山J Cとの交換事業として、両県の社会福祉施設に在住している子供たちを津山の「山、鳥取の「海岸線特徴ある両市それぞれに招き、子供たちがはしゃぎまわったことも記憶に新しいところです。



ついで37年でございますが、この年は鳥取J Cの歴史の上で事業の数としては恐らく一番多く、盛りだくさんに行なった年だと思っています。内容をかいつまんでみますと、第1回東部地区児童福祉施設合同運動会、先ほど申し上げた野球大会は継続事業としてやっています。さらに文芸春秋社とタイアップして第1回の文化講演会、また鳥取市の開発は今後いかにあるべ



きかについての経済討論会、これには県・市当局者、経済関係者を講師に招き、市民多数の来聴をもらい活発な質問があったという実情です。こういうことが現在のCDP運動につながる

る1つの芽生えであったと思うのです。このほか岡山の水島コンビナートへ視察団を出して倉敷J Cの協力を得、勉強の機会をもったこともあります。このようにこの2年間はメンバー同士の友情を深めながら社会福祉事業を進め、他方では若い力をできるだけ巾広く、強力に地域社会開発のため尽くす努力を続けた、私はこのようなことを声を大にしてメンバーの皆さんにお願いしたと思っています。

**司会** 5代の山根さんのときはいかがでしょう。



**山根** 私は38年に担当したわけです。先ほどお話がありましたように、この年は浜崎君が中国地区協議会の会長という大任を受けられた年で、私は鳥取J Cがいかにかこれをバックアップしてゆくかを強く

念じたものです。前任の2人の理事長が、ともに牽引力が強い(笑い)活動をされた後でもあり、ここでひと息入れて(笑い)楽な姿勢でゆこうときめ込みました。メンバーの友情・親



睦は5年目を迎えてでき上がったと思われ、むしろこの年は家族的つながり、家族会といったものがかなり派手にやられたと記憶しています。それから、これは思い出が深いのですが、鳥取大丸で日米交換アメリカ児童画展を開催して市民に喜ばれたこと、これは浜崎理事長時代の引き継ぎ事項で、当時の長尾君がアクロンJ Cとの連絡の任に当って開催に漕ぎつけたもの

です。またこれも先ほどお話があったのですが、経済活動委員会が中心となって将来の鳥取市はどうあるべきかという都市計画研究にも取り組んだと思います。文春とのタイアップ文化講演会も継続事業として無理はありましたが開催でき、やはり市民の皆さんに喜んでもらいました。

いま1つは鳥取市民会館のことです。この年第1回青少年音楽祭というものを市立体育館で開きました。ところが、ここでの音響効果というものは非常に悪い、そういうことから1日も早く市民会館、市民ホールをつくってほしいという狼火(のろし)が教育青少年委員会を中心に盛り上がったわけです。私自身は浜崎君のバックアップということで、あまり事業をもたずに楽な姿勢でやり、それぞれの皆さんに仕事を分担してもらった、そんなことで1年を終始したように考えます。

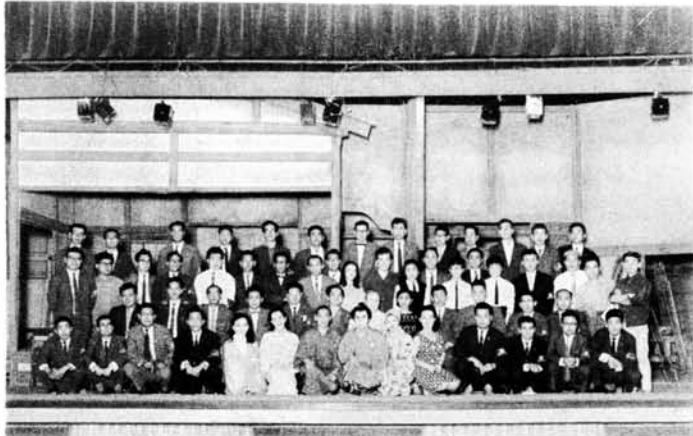
**司会** それでは坂尾さん……。



**坂尾** 5周年を迎え、10周年へ向かおうという一つの節(ふし)といった年でした。5代にわたる3人の理事長さん時代にJ C活動、事業は軌道に乗ったと感じとったものです。浜崎君の中国地区会長

といわず、日本J C、国際J Cにもメンバーの参加があり、巾広い鳥取J Cとなり、内部的には記念の節をつくらうというムードが強まり、種々の記念事業が行なわれました。

私自身は無力でしたが、メンバーの皆さんが



J Cの旗印のもと、J Cならではのできないという意気込みでことに当たられた。先ほども話がありました市民会館建設運動にはJ Cが先頭に立って、具体的には京都のくるみ座を呼んで公演をし、その利益金を市へ寄付して建設を促進しました。これは記念事業の一番大きいものだったと思っています。

またこの年は植樹祭鳥取開催の前年に当たって、何かこれにちなんだ事業をやろうということで市当局と折衝の結果、久松山二の丸公園にツツジを植えることになり、メンバー



の寄付もあるなどその意義を深めたものと喜んだわけです。さらにこの年は、日本J C木材部会の大会を鳥取が引き受け、全国から100余人



の会員を迎え盛大にこれを行ないました。

これも代々の理事長さんが力を入れられたところですが、県の東部総合開発ということに積極的に取り組もうとしたこともあります。今日10周年を迎えたわけですが、この間の努力といましようか、念願とした東部山岳地帯の扇ノ山、永ノ山の国定公園指定も本年度実現をみました。J C活動がさらに今後地域開発の原動力となることを期待し、ひるがえってJ C 5周年という年を皆さんのお力添えで無事終わらせて

もらったことをいま誇りに感じているところです。

司会 7代の西尾さんどうぞ。



西尾 私は40年を担当したわけですが。代々理事長お話し少年野球とか文化講演会、その他継続事業の福祉関係の花火大会、積善学園でのクリスマス慰問などそのまま行なったわけです。

強いて申し上げをとすれば、私は内部的には会員相互のリーダーシップ・トレーニングを基調とした充実したJ C活動を、また対外的には文化的投資の少ない鳥取の町にぜひ市民会館を建設してもらおうようアクティブな働きかけを、この2つを柱として動いたと思っていることです。

市民会館の話は先にもありましたように体育館での音響効果の点、くるみ座のチャリティーショーのことという経過をたどり、私のときは建設地のことで大もめにもめたことをおぼえています。これの実現は亀井理事長の代で、初めからでは4代の理事長にまたがったわけです。当時の日本J Cの数は283、会員数15,500人程度だったと記憶しています。





**亀井** 私は8、9代を受けもったわけです。私までの例からゆきますと、理事長は全部副理事長経験者となっていました。実は私の前の総務委員長であった鎌田君がやり過ぎるほどよくやったことから

総務委員長は副理事長並ということで、私は総務委員長をやって理事長担当となった次第です。

この当時日本J Cの呼びかけもあってCD運動というものが始まりました。鳥取J Cとして41年3月に長野J C理事長であった北野さんにお出でを願い、お話を聞くなり色々資料も集めてCDと取り組んだわけです。さらに9月には

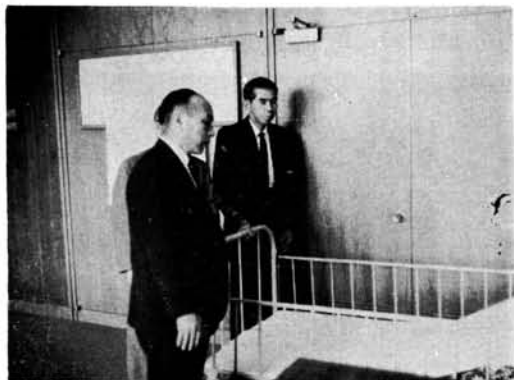
三洋電機社長の井植さん(故人)に来鳥してもらい講演会を開きました。当時の青少年委員長であった山本君の力添えて実現したものです。たまたまこの年に三洋の鳥取進出が決まったのですが、講演会はそれより前に決まっていた。

また現在久松山へロープウェイが運航されていますが、41年11月に私たちは鳥取城復元ということで鳥取西高校の山根先生をゲストに迎えて話を聞いています。ロープウェイ実現化の話はこの当時からでていたわけです。

これより少し前の8、9月ごろに政治へのアプローチということが浮かび上がり、42年春の県会議員選挙ごろまで、この問題は大きくクローズアップされると同時にメンバーの熱の入れかたも非常なものでした。この42年という年はたまたま明治100年ということでしたが、ご存知のようにJ Cは満40才までが資格年令で、42年度からは昭和生まれの人ばかりでメンバーを占めることになりました。1月には先ほどお話の市民会館落成式があり、くるみ座の公演をやったわけです。此の公演は「重症身心障害児に愛の手を」と言うキャンペーンで、後日その益金55万円をもってベッドを石破知事を通じて贈りました。



さて政治へのアプローチという問題ですが、これにつきましては全国理事長会でも色々問題が出され、最終的には各ローカルの理事長に任せるということに落ち着いた経過もっています。鳥取の場合は浜崎君が県議選候補として満場一致決まったわけで春の選挙まではすべての事業を選挙へ結びつけたものです。3月のワークマン・キャンプ、同じころ職域グループ懇談会、J Cの中の婦人の集いなどなど政治へのア



プローチとして選挙へ結びつけました。その後の7、8月になりますとご承知のように次年度役員の変考で、これをやり継続事業の残されたものを手がけて終わったということでございます。

**司会** 最後に10代、11代の中尾さんどうぞ。

**中尾** 私は昨年とことして、あまりに近いの言い過ぎても困るのですが、実は理事長に推薦されたとき「困ったなあ」と思いましたのは山根理事長、坂尾理事長の代に2年間私は副理事長をさせてもらっていました。この時の副理事長は非常に楽な副理事長で、なにもしなくてもよい、ただ理事長が休まれたとき例会と理事会を主催すればよいということだったのです。当時浜崎さんが中国地区協議会の会長になられ1月に第1回の地区協議会を鳥取商工会館別館でもたれましたが、このとき私に昼間の会議と会議の間になにかしゃべれとなっていたのですが、前夜来から酔っぱらっていて大野木直前会長をお迎えしただけで、あとはさぼってしまうくらいでした。私はどちらかというとスリーピング・メンバーであったのですが、そろそろお前も年だから理事長をやってみろ、ただこ

れまでの行状が面白くないからもう1人お目付け役をつけておこうということになり、私の代から副理事長が3人となりました。各副理事長が3委員会くらいづつ掌握する制度になっています。

また私が理事長をお受けしたとき西尾さんがブロック会長となられ、これを補佐して十二分な活躍をさせていただこうということから当初から全員登録ということで平田J Cチャーターナイトには鳥取J C初まって以来の全員登録をやりましてバス例会を催しました。春の彼岸前後だったと思っていますがバスの中で例会をもちました。なぜそうしたかというその意図は、世代的に運営上むづかしい人員構成となっていると考えたからです。従ってなるべく皆さんとの話し合いの機会をもとう、バスの中もまたあじなもの、とやったわけで2時間余の遠慮のない話し合いが行なわれました。

それからこれは成功しなかったのですが鳥取市農協の生活センター設立問題と取り組んだわけです。農協の商業活動というのはよく問題となるのですが、ほかの経済団体では取り上げにくい問題だと思い、経済委員会が中心となり取り組む姿勢を示したのですが、途中、私のリーダーシップのいたらざるところで挫折しました。このようなことから当時石破知事さんを囲む懇談会も開きました。夕食時間を利用したのですが、知事さんも若いものの意見を聞こうということです。時間余にわたり、鳥取駅の高架問題、農協の生活センター問題など中心に話し合いました。

その後経済委員会を中心とした経済セミナーこれは産業教育におけるリーダーシップのあり方ということで、たまたまそういう方面に当時副理事長の松浦さんの職場で色々講師を呼んで研修会が持たれていたもので、これと共同して阪大の広田教授を呼び会員の研修会を持ちました。

いま1つ昨年の大きい事業は社会開発計画に取り組んでいこう、実は前年私が社会開発計画委員長をやっているアンケートを出し、その集計が遅れていて、昨年からことに引き続いて集計・追跡調査をやってきたことです。こ



れについては家庭のバックアップを得てやることのできたといえるものです。

継続事業はなるべくやらないという方針ですが、少年野球、施設関係の子供の運動会、いま1つは亀井理事長の代に始まったワークマン・キャンプ、この3つはどうしてもやらねばならないとしています。ワークマン・キャンプは河合谷高原でやられていたのを氷の山に替えてやったのですが、重いリュックや天幕を背負って山の中へ入り生活を共にしたことは将来の生活の糧になるだろうなど反省会での語り合いもあって、これは成功したと考えています。

昨年の後半になりますと、ことしの10周年を迎える態勢をということで格別言うことはないのですが、現在の7委員会のほかに特別委員会を3つ増やしたということです。3つというのは都市問題委員会、10周年委員会、それから亀井直前理事長から話がありましたが、J Cは理念だけ追及していても実際政治との結びつきがないといけないということで政治問題研究会この3つをもっています。現在アクティブ・メンバーとして県会に浜崎、町会に河田・小谷の3君を持っており、この3君を中心に政治問題と取り組んでゆこうとしています。特に明年は安保の年でもあり、激動する国際社会にたいする日本の立場を考え、日本の政治をどのように推進したらよいか、この問題を取り上げていくことにしています。

**司会** 有難うございました。それでは色々お話なさいましたうちの格別ご苦勞なされたことなど、裏話、といったものをお伺いしたいと思います。10年もちまますと最初のチャーターナイトの頃とはすっかりとっていいほどメンバーが変わっています。現在のメンバーに当初の



頃、成長のいきさつを知ってもらうのに貴重なお話しだと思います。

**中尾** 補足しますが、ことしは東京にJ Cが生まれて20周年で、現在400余のJ C、メンバー数ざっと26,000人というところです。それから昨年釧路J Cと鳥取J Cが北海道の会員大会を記念して姉妹J C関係を結んだのですが、ことしは北海道開基百年、釧路へ市制が敷かれて80年、鳥取も同じく市制80周年、鳥取J C10周年と記念が重なりました。

**司会** 裏話しといったものを少し語ってほしいと思います。現在非常に盛んな少年野球それを思いつかれた動機は、浜崎さん……。

**浜崎** 青少年の不良化防止、健康な身体づくり、夏休みの善用そういったものがねらいでした。先ほども話しましたが文部省の次官通達でストップをくらい、教育委員会相手では駄目なので、ひと智恵しほって県厚生部とかけ合い青少年の福祉行政面から子供会、つまり学校教育面でなく社会教育の分野で始めたのです。

**司会** バットを揃えたり、飛び出したボールの始末をしたり、審判におしほりを運んだりという子供にたいする大人のサービス、子供と大人の融合といった姿は非常によかったです。J Cが心をこめたサービスを子供に与えたということは当時好評だったですね。

**金田** かって野球で鳴らした一中一西高が当時弱かった。なんとか野球を強くしようという含みもありました。事実第1回の少年野球の子が西高で甲子園に出ました。これらの子供は現在大学を出て社会人になっていますね。

**坂尾** そうです。ねらいの1つでした。この野球は大成功です。

**司会** チャーターナイトでもご苦心が……。

**金田** ええ。初年度のメインイベントでした。チャーターナイトそのことがよく分からないので選手をつくって大阪方面、岸和田J Cなどへ勉強に出かけたものです。三木のJ Cからは「来ると登録しておきながら、来なかった」と叱られたりもした。メンバーの方々が責任感に燃えてよくやられ、坂尾さんは先頭に立って岡山の池田隆政さんご夫妻のお出をねばったですな坂尾さん（笑い）千会頭も忙しい人で、行

けないという日程のものを是非にということで夫人同伴で来鳥してもらいました。ちょうどこの年は日本J Cの会頭を選ぶ年で、静岡の桜井という革新候補が表われ、相手の石川候補と2人で来鳥された。仙台の大会で石川候補が圧勝されたが、桜井候補がJ Cに警鐘を鳴らしたということで、その後高く評価された。

**浜崎** 式の準備が大変でした。登録のない人が来賓でみえたりするので、あわてて紹介の名前を書いたり机を用意するやら、また宿泊予定のない人が急に泊るといわれたり、泊る予定の人が帰ってしまったりでテンヤワヨンヤ。然しメンバーの人達が本当によくやられた。

**西尾** 池田隆政ご夫妻が2等車でお出になったわけだが、当時これに批判がでましたなあ。というのは因美線に1等車がなく、岡山で交渉したのだが規則ということで1等車がつけられなかったのです。

**坂尾** 千会頭の講演会場を急に変えたこともありでしたね。

**金田** そうそう。せっかくの若宗しょう来鳥ということで図書館を会場にしたのですが、全くきたなくて、知事さん夫妻らもいい着物で来ておられるのにすわれんです。雑巾でやりかけたが手におえん汚れようで急拠変更したわけです。

**司会** くるみ座公演の「秘話、もあるでしょう。浜崎さん。

**浜崎** 女優さんの背を流した1件ですか（笑い）あれは然しメンバーのJ Cにたいする「極致、ともいうべき涙ぐましい「奮闘、の表われです。さきほどのお話の市民会館建設運動にまつわる「物語り、なのですが、山根理事長の代に、お話のあったとおり青少年音楽祭を体育館でやった。ところが音響効果ゼロで、なんとか市民ホールをということになったのです。これが歴代J Cの継続事業となり、坂尾理事長の5周年のとき、その記念事業に結びつけて、くるみ座公演を打ったわけです。当時はいまと違って「興業、が別の世界のものと云うニュアンスがあり、メンバーがキップを売ったりすることはよくないといった批判もありましたが、結果はどうです、大変な喜ばれようで、J C会員が

招待客を一いち懐中電灯で席まで案内したと評判になりました。女優さんの世話係りメンバーも、ここぞとばかりの奮闘ぶり（笑い）で、ついに裸の背を流す（爆笑）ところまで「発展、することになったものです。

この純益30万円は市に寄贈、新聞広告にも「早期建設促進」をうたい、41年の亀井理事長の代に市民会館落成となりました。この記念のこけら落としをとということがあり、好評だったくるみ座を再度呼んでチャリティショーつまり「身心障害児に愛の手を」というショーを開いた。このあたり私は鳥取J Cが誇ってよい足取りだと思っています。

**中尾** そこで私もひと言。その継続事業の精神を継ぎまして（笑い）10周年前夜祭（9月26日）には重症身心障害児へ愛の手をという「あゆみの箱」運動、これに理解のある芸能人を呼び、ショーの開演の際、あゆみの箱をもって場内を歩いてもらい寄金を得ると同時に、一般への認識を高めてもらうことにしています。

**司会** くるみ座の女優さんも、あの当時より大きく成長され、いまテレビ出演で堂々の方が多い。それと友情を暖められ（笑い）その後もちょいちょい京都で……（爆笑）というOBメンバーもおられるとか、これは「秘話、ですな。

**西尾** チャリティショーのとき、益金でベッドを寄贈したですね。

**司会** 中尾さん、こんどの前夜祭のショーは……。

**中尾** いまの予定では伴淳はじめ15人程度を予定していますが、益金を寄贈ということよりこのショーにそれら恵まれない子供を招待して喜んでもらい、一方福祉問題に一般の目を向けてもらう、認識を高めてもらうことを大きい目標にしています。

**亀井** 三洋電機の井植社長をお呼びした講演会にも苦労があったですよ。これは41年9月でしたが、山本君が青少年委員長をやっておられて非常なほん走をされた。当初は松下電機会長の話もあったのですが、2人ともなかなか返事が頂けない、井植社長のほうも秘書を通じて2回ばかりは断わりの文書がきました。井植社長

来鳥は何とかOKで乗り切ったのですが、こんどは聴講の中・高校生がうまく予定どおり集まるかどうかです。遷喬の講堂で1,500人ばかりを予定しており、中学・高校の勧誘回りをしたのですが最初「出す」というものが、しまいには「出れない」など弱りました。ねばりのあげく就職予定者を主体に目標の人員は集めました。

**坂尾** 付き添いの教師が感心していたことを思い出します。授業のとき行儀の悪い生徒が、よくまあ2時間の講演を静かに熱心に聞き取ったものだ。全く感心したとね。やはり体験からにじみ出た井植さんの話は人の心を打つものがあつたわけですね。

**金田** あのとき経済クラブでも鳥取銀行に井植社長をお呼びして講演会を開きましたが発会でしたね。

**司会** それでは最後に今後の鳥取J Cに皆さん何を望まれるか、一言ずつ。

**金田** 若さの可能性を自信と勇気をもって發揮してもらいたいことです。商工会議所とか経済同友会とか、或いはその他政治の場に出られた際、もっと自信ある言動を示してもらいたい。いささか小心になっておられはしないかと思えます。ただし独善であってはならない。J Cメンバーは同年代の人より経済的、社会的に恵まれた方々が多いのですが、これに安易なあぐらをかいているというようなことのないように、地域社会のためになる、好感をもって迎えられるJ Cを望みたいと思います。

**西尾** 明年は米原さんが日本J Cの会頭となられる。山陰の鳥取で会頭を出すということは鳥取J Cとして大変なこと。世界会議、日本の会員大会などなど全部出席されるでしょうが、鳥取J Cはこれを十分にバックアップしないといけない、会頭出身J Cとしてスポットも当たることと思われま。

**浜崎** 私はJ Cの特色はリーダーシップ・トレーニングにあると思います。従ってJ Cの枠の中にあつて若い人が大いに勉強してもらいたい。ただしJ Cが自分の生活のすべてであるということではいけないので、もっと広い視野に立った活動、広い視野に立ったメンバーである

ということに意を用いてもらい、そういう社会的言動で一般にJCを認識してもらうことに努められたいと思います。

**坂尾** 10年ひと昔ということばもあり、なにか非常に遠い昔の思い出でもありますが、反面ついきのうのような思いもします。5周年の記念大会の感激などきのうのようです。それにつけても、ご送付を受けているJCニュースは有難く読ませてもらっており、今後もよろしく願いたい。明年はチャーターメンバーが14人卒業されるそうですが、鳥取JCのOB会でも設けたらよいなどと考えています。

**亀井** 今後のご健闘を祈っています。

**中尾** 色々のご忠言有難うございました。私たちはよく反省し、地域社会から笑われない卵C、勇気と決断をもって行動する鳥取JCに盛り上げてゆきたいと考えています。

**司会** 長時間有難うございました。

## ◇ 思い出のアルバム ◇



<S 34.9.19 認承状伝達式 於鳥取商工会館>



<S 37.6月 アクロンJ.Cとの児童画交換展覧会 於鳥取大丸>



<S37.6月 第1回施設児童の合同運動会 於砂丘>



<S 37.8月 第2回少年野球大会 於鳥取西高>





<S 38.3月 積善学園ひなまつり>



<S 38.9月 市長を囲む教育座談会 於鳥取大丸>



<S 39.5月 楽しかった家族会  
於白兔海岸>





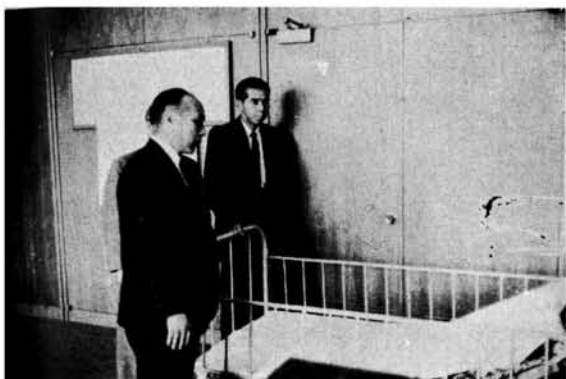
<S 39.10月 創立5周年記念式典於鳥取商工会館>



<S 40.6月 第7回施設児童合同運動会 於16本松>



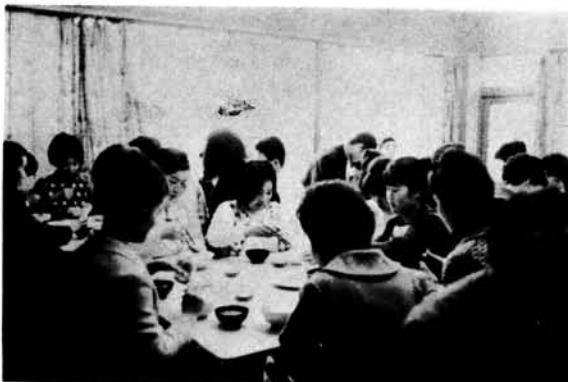
<S 40.8月 第1回鳥取しゃんしゃんまつりにJ.C連として参加>



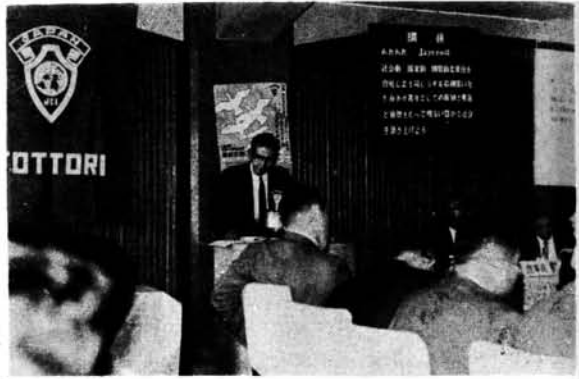
<S 41.1月 重症心身障害児にベッドを15台贈る>  
(市民会館こけらおとしチャリティーショーの益金による)



<S 42.3月 働く者の集い於青年の家>







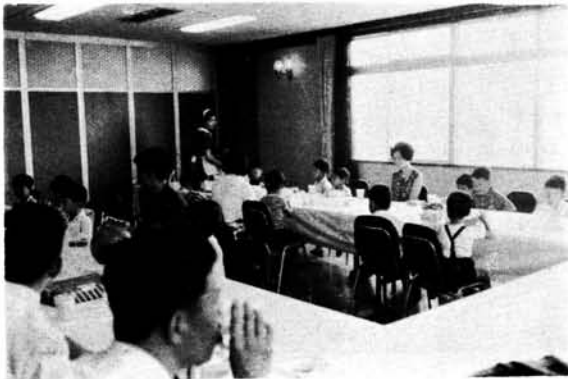
<S43.4月 石破知事を囲む座談会於大丸>



<S43.4月 米子J C 10周年記念大会に全員登録>



<S43.6月 神戸少年の町児童を1日里親として招待>





<S43.9月 ワークマンキャンプ於氷ノ山>



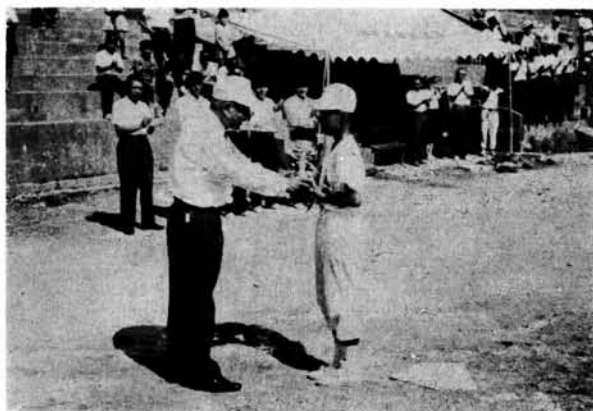
<S 43.10月 10周年記念について熱心に打合せ>

<S 43.10月 姉妹J.Cとして釧路との第1  
回交歓会於札幌>





<S44.5月 10周年記念式典のPR 於防府>



<S44.8月 第9回少年野球大会於鳥取西高>



<S44.9月 10周年記念行事の一環として集団献血於日赤>

# 10年のあゆみ

## ～34年度～

- 33.12.20 設立準備委員会（第1回）
- 34.1.25 創立総会（於商工会館）役員決定（  
会員47名）来賓、児島卯吉、米原章  
三、入江市長
- 34.3.7 日本J C理事会に於て入会承認
- 34.9.19 認承状伝達式（於商工会館）千宗興  
会頭、池田隆政夫妻他、30J C
- 34.12.16 クリスマスパティー（於商工会  
館）

## ～35年度～

- 35.1.9 新年祝賀会（於浜の家）
- 35.2.15 認承記念時計塔引渡式
- 35.4.25.26 国際見本市視察、大阪J Cとの交  
換（於産経会館）
- 35.9.26 交通事故表示板贈呈式（於ナシヨ  
ナル会館）
- 35.10.8 中尾、長尾君世界会議出席
- 35.11.16 中国地区野球大会（於岡山球場）  
準優勝
- 35.12.18 クリスマスパティー（於大丸）

## ～36年度～

- 36.1.9 新年祝賀会（於三朝岩崎）
- 36.1.27 報道機関との座談会（於丹頂）
- 36.3.4 中学卒業就職者激励大会（於鳥取職  
安）
- 36.4.9 天球丸へ水銀灯建設費寄附
- 36.5.7 春の家族会（於鳥取砂丘）
- 36.5.16 春の交通安全運動自動車パレード、  
モデル校表彰式
- 36.7.2 米子J Cとの野球、ゴルフ大会（於  
公設グラウンド、鳥取ゴルフ場）
- 36.7.9 津山J Cとの子供交歓会、津山若葉  
学園児招待（於霞露海岸）
- 36.7.25 夏の家族会（於日和山海岸）
- 36.8.7.8.9 第1回少年野球大会（於遷喬、明  
徳）

- 36.8.13 白兎学園訪問（花火大会）
- 36.10.1 坂尾君世界会議参加（於プエルトル  
コ）
- 36.10.8 中国地区野球大会参加（於米子湊山  
球場）
- 36.10.9 事故表示板修理（駅前）
- 36.12.16 クリスマスパティー（於自治会  
館）

## ～37年度～

- 37.1.26 経済記者との座談会（於小銭屋）
- 37.3.2 中就者就職激励大会（於体育館）
- 37.4.14 第1回経済放送討論会（於農協会  
館）
- 37.4.18 労働講座（於鳥取大丸）
- 37.4.19 積善学園児を米子自衛隊招待
- 37.5.12 春の交通安全パレード並に市内小中  
学校へ安全旗贈呈
- 37.5.13 春の家族会（於16本松）
- 37.6.3 施設児童の合同運動会（於鳥取砂  
丘）
- 37.6.16 アユ狩（於河原菊乃家）
- 37.6.23 アクロンJ Cとの児童画交換記念

- 37.7.23～25 水島コンビナート視察（於岡山  
水島地区）山陰統一行事
- 37.8.5 夏の家族会（於夏泊、浜村）

## ～38年度～

- 38.1.3 第一回中国地区協議会（商工会館）
- 38.1.16 定時総会（鳥取大丸）
- 38.1.15～20 日米アメリカ児童画展（鳥取大  
丸）
- 38.2.17 山陰ブロック会議（出雲市体育館）
- 38.2.26 新会員研修会（ナシヨナル会館）
- 38.3.3 積善学園ひな祭（積善学園）
- 38.3.13 坂出J Cとの交歓会（商工会館）
- 38.3.20 報道機関との座談会（千鳥）
- 38.4.11 都市計画研究会（鳥映グリル）

- 4.23 白兔学園リクリエーション(砂丘チューリップ)
- 5.3 春の家族会77名(白兔海岸)
- 5.23 中国地区会員大会(米子)
- 5.28 文春文化講演会(日ノ丸劇場)
- 6.2 津山J C 5周年記念式(津山)
- 7.17 臨時総会(大丸クラブ室)
- 8.4 夏の家族会55名(大山)
- 8.8~10 第3回市少年野球大会(17チーム)
- 8.12 白兔学園花火大会
- 8.21 定時総会(商工会館)
- 9.13 市長を囲む会31名(鳥銀ホール)
- 9.16~20 国際J C 沖縄大会(沖縄)
- 10.3~5 第12回全国大会(金沢)
- 10.20 施設児童運動会(砂丘)
- 11.9 第1回青少年音楽祭(体育館)
- 12.11 新旧合同理事会(会館第一会議室)
- 12.21 臨時総会クリスマス家族会(会館別館)

~39年度~

- 39.1.3 新年宴会(宇倍神社)
- 2.6 報道関係者との座談会(商工会館)
- 2.8 スリーピングメンバー対策
- 〃 新会員研修会(ミカド)
- 3.8 積善学園ひな祭(積善学園)
- 3.28 市公会堂、総合グラウンド建設座談会(商工会館)
- 5.5 J C、積善学園「砂丘」リクリエーション(砂丘)
- 5.24 各施設合同運動会(砂丘)
- 6.5 「くるみ座」公演日ノ丸劇場
- 〃 プランコ贈呈式(久松公園)
- 7.21~22 岡山、玉野市民会館(視察)
- 7.30 教育座談会
- 8.8 善意銀行「山の子を海へ招待」(十六本松)
- 8.11~13 鳥取東部小年野球大会(公設)
- 8.16~17 山陰ブロックL T委員会主催(夏期ゼミナー大山)
- 8.25 白兔学園花火大会(白兔学園)
- 9.11 鳥取・豊岡J Cとの懇談会(商工会

- 館)
- 9.24 日本J C木材部会大会(鳥取)

~40年度~

- 40.2.3 新入会員研修会(於商業福祉センター)
- 2.17 第1回国経営研修会(於鳥取大丸)
- 2.27 鳥取商議所会頭との懇談会(於商工会館)
- 3.7 積善学園ひなまつり(於積善学園)
- 3.9 報道関係者との座談会(於ミカド)
- 4.28 第2回経営研修会(於扶桑銀行)
- 5.23 春の家族会(於つづらお城趾)
- 6.6 施設児童合同運動会(於十六本松)
- 6.22 第3回経営研修会(於ナショナル会館)
- 8.6.7.8 第5回鳥取市少年野球大会(於公設、醇風小グラウンド)
- 8.21 白兔学園花火大会(於白兔学園)
- 9.15 知事を囲む懇談会(於鳥取大丸)
- 10.8 文化講演会(於日ノ丸劇場)井上靖、奥野信太郎、西川辰美各氏
- 11.7 会員リクリエーション(境港)
- 11.17 若草学園クリスマス(於若草学園)
- 11.19 積善学園クリスマス(於積善学園)
- 11.20 教育者との座談会(於商業福祉センター)
- 11.24 白兔学園クリスマス(於白兔学園)
- 12.2 第4回経営研修会(於ナショナル会館)
- 12.7 卒業会員送別会(於小銭屋)
- 12.25 クリスマス家族会(於農協会館)

~41年度~

- 2.27 積善学園ひなまつり(於積善学園)
- 3.2 第1回経営研修会(於ナショナル会館)
- 3.24 第2回経営研修会(於ナショナル会館)
- 5.22 春の家族会(於十六本松)
- 6.5 各施設合同運動会(於十六本松)
- 7.2 婦人のつどい(於山陰合同銀行)
- 7.5 知事を囲む懇談会(於山陰合同銀

- 行) 県内4J Cと合同
- 7.5 県教育長を囲む懇談会(於山陰合同銀行)
  - 7.21 婦人のつどい(於山陰合同銀行)
  - 8.5.6.7 第6回鳥取市少年野球大会(於公設、西高グラウンド)
  - 9.12 新入会員研修会(於ナショナル会館)
  - 9.28 井植歳男氏の講演会(於遷喬小)
  - 10.8 第3回経営研修会(於小銭屋)
  - 10.16 秋の家族会(於鳥取砂丘)
  - 12.2 卒業会員送別会(於小銭屋)
  - 12.17 クリスマス家族会(於農協会館)

～42年度～

- 1.13 市民会館落成記念公演(チャリティーショウ) くるみ座、
- 2.1 政治座談会(於ナショナル会館)
- 2.23 新入会員研修会(於ナショナル会館)
- 2.26 積善学園ひなまつり(於積善学園)
- 3.5 春の家族会(於浜の家)
- 3.11.12 働く者の集い(於青年の家)
- 3.14 職域グループ懇話会(昭和っ子中堅社員との)(於オリエント会館)
- 6.5 経営管理講習会(於ナショナル会館)
- 6.11 第6回施設合同運動会(於十六本松)
- 8.4.5.6 第7回鳥取市少年野球大会(於公設、西高グラウンド)
- 9.5 新入会員研修会(於ナショナル会館)
- 9.9.10 ワークマンキャンプ(於河合谷高原)
- 10.22 秋の家族会(於大根島)
- 11.14 就職事情懇談会(於ナショナル会館)
- 12.16 クリスマス家族会(於鳥取大丸)

～43年度～

- 2.14 新入会員研修会(於ナショナル会館)

- 3.11 施設ひなまつり  
神戸少年の町の児童を一日里親として招待
- 4.9 古井氏を囲む会(於ナショナル会館)
- 4.10 石破知事を囲む会(於竜仙閣)
- 6.2 各施設合同運動会(於十六本松)
- 7.6 講演並に討論会(於扶桑銀行)
- 7.7 夏の家族会(於青谷海岸)
- 7.12 経済セミナー(於ナショナル会館)  
関大、広田教授
- 8.2.3.4 第8回鳥取市少年野球大会(公設西高グラウンド)
- 9.7.8 ワークマンキャンプ(於氷ノ山)
- 9.23 LDセミナー(於ナショナル会館)  
講師米原君
- 10.22 会員研修会(於竜仙閣)
- 11.7 会員研修会(於ナショナル会館)
- 12.14 クリスマス家族会(於農協会館)

# 鳥取JC歴代役員名簿

## 1959年度

理事長 金田文夫  
 副理事長 浜崎芳宏  
 ” 真嶋寿一  
 理事 三宅金延 山根幸男  
 井手野聡 鎌田悟一郎  
 松田安正 池内勝信  
 西尾昌之助 坂尾裕正  
 監事 松浦寛 北村準一  
 矢谷志昂

## 1960年度

理事長 金田文夫  
 副理事長 浜崎芳宏  
 ” 池内勝信  
 理事 山根幸男 安東二郎  
 松下弘 松浦寛  
 近藤弘司 西尾昌之助  
 亀井康孝 米沢安民  
 鎌田悟一郎  
 監事 板倉国義 河田博志  
 石黒松雄

## 1961年度

理事長 浜崎芳宏  
 直前理事長 金田文夫  
 副理事長 池内勝信  
 副理事長 近藤弘司  
 理事 岡康正 板倉国義  
 芦谷弘章 平井義人  
 中村昌樹 三宅金延  
 河田博志 山根幸男  
 中尾喬一 鎌田悟一郎  
 広谷隆等 亀井康孝  
 坂尾裕正 北村準一  
 矢谷志昂  
 監事 由谷圭介 土家巖  
 長尾正道

日本JC中国地区協議会副会長 金田文夫  
 ” 国際広報委員 中尾喬一  
 ” 経済活動委員 坂尾裕正

## 1962年度

理事長 浜崎芳宏  
 副理事長 坂尾裕正  
 ” 山根幸男  
 理事 池内勝信 石黒松雄  
 梶田真輔 鎌田悟一郎  
 古寺善三 近藤弘司  
 高田円一郎 玉木久夫  
 辻敏治 中尾喬一  
 長尾正道 三宅金延  
 森下耀雄 森田一郎  
 広谷隆等 清水利夫  
 監事 亀井康孝 中井積  
 中川清道

日本JC中国地区協議会経済活動副委員長 池内勝信  
 ” 社会福祉副委員長 三宅金延

## 1963年度

理事長 山根幸男  
 直前理事長 浜崎芳宏  
 副理事長 中尾喬一  
 ” 西尾昌之助  
 理事 安部誠吉 池内勝信  
 鎌田悟一郎 亀井康孝  
 川島久 古寺善三  
 坂尾裕正 高田円一郎  
 玉木久夫 辻敏治  
 中井積 浜崎芳宏  
 広谷隆等 前川清治  
 松下弘 三宅金延  
 森下耀雄 米沢安民  
 監事 近藤弘司 土家巖  
 由谷圭介

日本J C中国地区協議  
会会長

” 会長付理事

” 総務委員長

日本J C中国地区協議  
会教育青少年副委員長

浜崎 芳 宏

池内 勝 信

坂尾 裕 正

鎌田 悟一郎

1964年度

理事 長 坂尾 裕 正

直前理事 長 山根 幸 男

副理事 長 中尾 喬 一

” 三宅 金 延

理 事 安部 誠 吉 池内 勝 信

小田 信 夫 鎌田 悟一郎

北村 勝 美 島田 稷

玉木 久 夫 辻 敏 治

土家 巖 梨原 巖

西尾 昌之助 浜崎 芳 宏

平野 之 致 広谷 隆 等

前川 清 治 森下 耀 雄

吉田 幹 男

監 事 古寺 善 三 川 島 久

高田 円一郎

日本J C中国地区協  
議会直前会長

浜崎 芳 宏

” 経済活動委員長

池内 勝 信

” LT副委員長

西尾 昌之助

1965年度

理事 長 西尾 昌之助

直前理事 長 坂尾 裕 正

副理事 長 玉木 久 夫

” 鎌田 悟一郎

理 事 亀井 康 孝 河田 博 志

森下 耀 雄 山根 常 愛

池内 勝 信 永瀬 正 治

梨原 巖 平野 之 致

高田 円一郎 山本 富 二

川島 久 浜崎 泰 三

安部 誠 吉 太田 貞 之

監 事 三宅 金 延 島田 稷

三谷 守

J C出行委員 辻 敏 治

中井 積

1966年度

理事 長 亀井 康 孝

直前理事 長 西尾 昌之助

副理事 長 鎌田 悟一郎

辻 敏 治

理 事 島田 稷 山根 常 愛

永瀬 正 治 中井 晋 之

山本 富 二 涌本 祐 之

松下 弘 田中 正 昭

太田 貞 之 小谷 信 行

橋本 博 夫 平野 之 致

浜崎 泰 三 尾崎 良 一

監 事 前川 清 治 森田 一 郎

山根 幸 男

日本J C業種別研究委員長 浜崎 芳 宏

” 業種別研究委員 中井 晋 之

” 広報委員 玉木 久 夫

山陰ブロック広報委員長 河田 博 志

1967年度

理事 長 亀井 康 孝

副理事 長 鎌田 悟一郎

辻 敏 治

理 事 西尾 昌之助 米沢 安 民

松浦 寛 平野 之 致

中井 晋 芝岡 禎 一

涌本 祐 之 足立 利喜雄

由谷 圭 介 安東 正

森下 耀 雄 三谷 守

浜崎 泰 三 小谷 信 行

監 事 玉木 久 夫 浜崎 芳 宏

山根 幸 男

山陰ブロック広報委員長 潮 巽 市

日本J C L D出向委員 池内 勝 信

CD実行委員長 浜崎 芳 宏

1968年度

理事 長 中尾 喬 一

直前理事 長 亀井 康 孝

副理事 長 松浦 寛

” 浜崎 泰 三

” 中井 晋

理 事 山本 富 二 山家 哲 彦



	中井積潮	巽市
	山本良二	安東正
	石本博美	浜崎貢三
	芝岡禎一	谷口亮
	足立利喜雄	本田博
	山根常愛	吉田幹男
山陰ブロック協議会長	西尾昌之助	
” 幹事	三谷守	
” 出向委員	涌本祐之	
日本J C出向委員	池内勝信	

**1969年度**

理事長	中尾喬一	
副理事長	浜崎泰三	
”	涌本祐之	
”	足立利喜雄	
理事	池内勝信	山家哲彦
	安東正	石本博美
	浜崎貢三	山根常愛
	鎌田悟一郎	金田勝太郎
	玉木久夫	永井伸和
	辻敏治	潮巽市
	本田博	福田義信
	古寺善三	山本富二
監事	西尾昌之助	浜崎芳宏
	三谷守	
日本青年会議所副会頭	米原正博	
山陰ブロック出向	中井晋	

# 鳥取青年会議所会員名簿

(1969年9月1日現在) 50音順

- (1) 氏 名 (4) 夫 人 名  
(2) 生 年 月 日 (5) 役 職  
(3) 自 宅 TEL



安 部 誠 吉

- (2) 昭和7年5月16日  
(3) 鳥取市上町171  
T ㊟ 4911  
(4) 律 子  
(5) 取締役社長

電気部品製造

鳥取ササ電機株式会社

TEL ㊟ 2580



足 立 利 喜 雄

- (2) 昭和11年10月19日  
(3) 鳥取市東品治町2/1  
T ㊟ 8545  
(4) 礼 子  
(5) 代表取締役

寝具販売業

(有) 足立わたふとん店

TEL ㊟ 8545



安 東 正

- (2) 昭和17年9月17日  
(3) 八頭郡智頭町  
T チズ ㊟ 0010  
(4) 範 子  
(5)

醤油醸造業

マルテ醤油店

TEL 代チズ ㊟ 0075



池 内 勝 信

- (2) 昭和8年4月1日  
(3) 鳥取市元大工町1  
T ㊟ 4188  
(4) 泉 子  
(5) 専 務

製綿、呉服、寝具

(株) 池内綿糸店

TEL ㊟ 3461



石本博美

- (2) 昭和4年4月1日
- (3) 鳥取市元魚町1丁目203  
T ㊟ 7568
- (4) 晶子
- (5) 常務取締役

印刷業

中央印刷株式会社

TEL ㊟ 1811 (代)



上坂敏夫

- (2) 昭和5年6月8日
- (3) 岩美郡国府町奥谷231-5  
T ㊟ 3532
- (4) 慶子
- (5) 鳥取工場次長

電気部品製造

日本フェライト工業株式会社

TEL ㊟ 5101



潮 巽市

- (2) 昭和11年12月30日
- (3) 鳥取市二階町1丁目218  
T ㊟ 1301
- (4) 惟子
- (5) 取締役社長

家具、貸衣裳

(株) ウ シ オ

TEL ㊟ 1301



尾崎良一

- (2) 昭和9年3月18日
- (3) 鳥取市元魚町1丁目  
T ㊟ 0421
- (4) 淑子
- (5) 報道課長

放送業

日本海テレビ放送

TEL ㊟ 5121



太田貞之

- (2) 昭和10年3月8日
- (3) 鳥取市今町1丁目556  
T ㊟ 3739
- (4) 美智子
- (5) ㈱太田専務  
(協)鳥取理事工場長

(株)太田材木店

(協)鳥取外材センター

TEL ㊟3374・㊟3661



岡 豊二

- (2) 昭和11年3月25日
- (3) 鳥取市西町2の304  
T ㊟ 2337
- (4) 夏 栄
- (5) 常務取締役

鉛 筆 卸 業

三菱鉛筆山陰販売株式会社

TEL ㊟ 2337



岡 垣 彰

- (2) 昭和14年10月21日
- (3) 鳥取市掛出町20
- (4) 敦 子
- (5) 専 務

自動車販売修理

日産サニー鳥取販売株式会社

TEL ㊟ 3251



鎌田 悟一郎

- (2) 昭和4年4月14日
- (3) 鳥取市職人町28  
T ㊟ 3697
- (4) 信 子
- (5) 鳥取生コン㈱ 専務  
㈱キヤラ代表取締役

生コンクリート製造

鳥取生コン株式会社

婦人洋装店

株式会社 キヤラ

TEL ㊟ 8474



河田 博志

- (2) 昭和5年6月30日
- (3) 八頭郡河原町大字河  
原16
- (4) 悦 子
- (5) 専務取締役

清 酒 製 造

(株)河田酒造場

TEL河原(08588)㊟0653



川 島 久

- (2) 昭和10年3月27日
- (3) 鳥取市浜坂1647  
T ㊟ 8020
- (4) 孝 子
- (5)

自動車用品卸、小売喫茶店併営

オートサロンシカゴ

TEL ㊟ 1250



金田勝太郎

- (2) 昭和13年8月28日
- (3) 鳥取市若桜町32  
T ㊟ 4532
- (4) 正江
- (5) 営業所長

清涼飲料水製造販売

山陽コカ・コーラ

ボトリングKK鳥取営業所

TEL ㊟ 3607



角谷弘海

- (2) 昭和15年2月21日
- (3) 鳥取市二階町1丁目113  
T ㊟ 3254
- (4) みゆき
- (5) 専務取締役

証券業

カドヤ証券(株)

TEL ㊟ 2278



加納衛

- (2) 昭和19年2月23日
- (3) 鳥取市二階町2丁目216  
T ㊟ 4033
- (4)
- (5) 専務取締役

家具製造販売業

有限会社 加納タンス店

TEL ㊟ 4033



訓谷稔

- (2) 昭和11年1月5日
- (3) 鳥取市富安166の36
- (4) 本子
- (5) 庶務課長代理

銀行業

鳥取銀行本店

TEL ㊟ 2849



小島英二

- (2) 昭和7年月5月23日
- (3) 鳥取市戎町414  
T ㊟ 2849
- (4) 智恵子
- (5) 代表者

セニイ品販売

(有) 小島商店



### 小 谷 信 行

- (2) 昭和8年9月4日
- (3) 気高郡気高町大字勝見696の1  
T浜村局 (08578)  
② 0531
- (4) 美砂子
- (5) 支配人

### 旅 館 業

### 小 谷 旅 館

TEL 浜村(08578)②0531



### 古 寺 善 三

- (2) 昭和9年11月3日
- (3) 鳥取市元大工町13  
T ② 6283
- (4) 美江子
- (5) 専務取締役

### 全酒類卸売業

アサヒビール特約店

### 株式会社 古 寺 商 店

TEL ② 4 1 1 1



### 佐 野 幸 男

- (2) 昭和5年3月20日
- (3) 鳥取市浜坂1494の4  
T ③ 0694
- (4) 悠紀子
- (5) 取締役所長

### フジカラー

現像、焼付、引伸し

### 株式 会社 鳥取カラー現像所

TEL ② 7 0 2 8



### 佐 々 木 進

- (2) 昭和6年9月10日
- (3) 鳥取市西町5丁目  
T ② 3031
- (4) 菊 子
- (5) 支店長代理

### 銀 行 業

### 山陰合同銀行鳥取支店

TEL ② 4 1 5 1



### 芝 岡 禎 一

- (2) 昭和7年7月14日
- (3) 鳥取市青葉町1丁目210  
T ③ 2361
- (4) 玲 子
- (5) 代表者

### 建築 窯業 販売 施工

### 芝 岡 商 店

TEL ③ 2 3 6 2



### 清水昭允

- (2) 昭和12年1月9日
- (3) 鳥取市今町1丁目173  
T ㉓ 0394
- (4) 是子
- (5) 代表取締役

鉄銅材商

(有) 清水商店

TEL ㉓ 1631 代



### 清水輝幸

- (2) 昭和12年11月2日
- (3) 鳥取市田島621の10
- (4) 満枝
- (5) 係長

日本交通公社鳥取営業所

TEL ㉓ 8351



### 但井源一

- (2) 昭和4年10月8日
- (3) 岩美郡岩美町大字田後  
T (08577) ㉓ 0171
- (4) 明子
- (5) 人事部次長

銀行業

扶桑相互銀行

TEL ㉓ 2131



### 田中正昭

- (2) 昭和5年12月19日
- (3) 鳥取市西町1丁目211  
T ㉓ 5289
- (4) 照枝
- (5) 指導主任

林業団体(特別法人)

鳥取県森林組合連合会

TEL ㉓ 0121~3



### 玉木久夫

- (2) 昭和6年8月27日
- (3) 八頭郡智頭町大字福原314  
T智頭(08587)  
㉓ 0233
- (4) 泉
- (5) 専務理事

学校法人

鳥取県東部自動車学校

TEL 代 ㉓ 7207



谷 口 亮

- (2) 昭和7年11月6日
- (3) 鳥取市江崎町85  
T ㊚ 5806
- (4) 克 江
- (5) 代表取締役社長

建築設計業

(株)栄建築設計事務所

TEL ㊚ 5806



高 木 孝

- (2) 昭和13年6月11日
- (3) 鳥取市賀露市営住宅  
L3-8
- (4) 一 枝
- (5) 専務取締役

新建材、卸小売販売

有限会社 木島ベニヤ

TEL 代 ㊚ 3636



谷 本 光 正

- (2) 昭和14年2月28日
- (3) 鳥取市東品治町10-1  
T ㊚ 7728
- (4) 弘 子
- (5) 常務取締役

酒類小売業

(株) 谷 本 酒 店

TEL ㊚ 7728



建 部 徹

- (2) 昭和15年12月12日
- (3) 鳥取市川端1丁目  
T ㊚ 4896
- (4) 蕙 子
- (5) 専務取締役

建具、襖内装

(有) 建部襖材料店

TEL 代 ㊚ 2741



武 田 一 彦

- (2) 昭和18年1月30日
- (3) 鳥取市東品治町2の15  
T ㊚ 4022
- (4) 洋 子
- (5) 常務取締役

自転車、オートバイ等卸業

武 田 商 会

TEL ㊚ 6103





辻 敏 治

- (2) 昭和8年11月28日
- (3) 鳥取市新町105  
T ㊚ 3723
- (4) 和 子
- (5) 専務取締役

洋服、呉服小売

(有) 辻 商 店

TEL ㊚ 3 7 2 3



辻 岡 徹 雄

- (2) 昭和9年5月17日
- (3) 鳥取市西町1の304
- (4) 美津子
- (5) 営業課長

放 送 業

日本海テレビジョン放送

TEL ㊚ 5 1 7 1



中 尾 喬 一

- (2) 昭和5年6月10日
- (3) 八頭郡若桜町大字若桜284  
T 若桜 8
- (4) 素 子
- (5) 助教授

国 家 公 務 員

鳥 取 大 学 教 育 学 部

TEL ㊚ 0 3 2 1



中 井 積

- (2) 昭和9年2月23日
- (3) 鳥取市上町75  
T ㊚ 6691
- (4) 啓 子
- (5) 代表取締役

時計、宝石、メガネ

(株) ナカイセキ

TEL ㊚ 4 0 9 0



中 井 晋

- (2) 昭和10年2月27日
- (3) 鳥取市川端1丁目205  
T ㊚ 3663
- (4) 洋 子
- (5) 専務取締役

時計、貴金属、メガネ小売商

株式会社 中井脩時計店

TEL ㊚ 3 6 6 3



中山 隆 義

- (2) 昭和12年3月21日
- (3) T ㊟ 2355
- (4) 啓 子
- (5)

菓 子 製 造

京 屋 菓 舗



中 沢 洋 雄

- (2) 昭和16年12月8日
- (3) 鳥取市西町3丁目210  
T ㊟ 4052
- (4) 雅 子
- (5) 取締役営業部長

木材卸売製材、内、外材販売

株式会社 中 沢 商 店

TEL ㊟ 2091 代



永 井 伸 和

- (2) 昭和17年9月15日
- (3) 鳥取市東品治町118  
㊟ T 2550
- (4)
- (5) 専務取締役

書 籍 販 売

富 士 書 店

TEL ㊟ 2550



西 尾 昌 之 助

- (2) 昭和4年7月14日
- (3) 鳥取市戎町410  
T ㊟3136~7
- (4) 芳 江
- (5) 代表取締役社長

洋 服 商

株式会社 ニシオ洋服店

TEL ㊟ 3136



縫 谷 昌 生

- (2) 昭和19年6月26日
- (3) 鳥取市西町4-117  
T ㊟ 4920
- (4)
- (5) 営業副部長

石油類卸小売業

鳥 取 米 油 株 式 会 社

TEL ㊟ 2291



### 浜崎芳宏

- (2) 昭和4年5月26日
- (3) 鳥取市川端3丁目202  
T ㊟ 2011
- (4) 明美
- (5) 専務取締役

鉄鋼販売

(株) 浜崎芳雄商店

TEL ㊟ 2011



### 浜崎泰三

- (2) 昭和8年6月17日
- (3) 鳥取市中町62  
T ㊟ 4655
- (4) 家代子
- (5) 常務取締役

鉄鋼販売

(株) 浜崎芳雄商店

TEL ㊟ 2011



### 浜崎貢三

- (2) 昭和14年1月17日
- (3) 鳥取市賀露町上浜1703  
T ㊟ 1531
- (4) 厚子
- (5) 取締役営業部長

鉄鋼販売

(株) 浜崎芳雄商店

TEL ㊟ 2011



### 浜崎正勝

- (2) 昭和17年2月15日
- (3) 鳥取市職人町27  
T ㊟ 5445
- (4)
- (5) 専務取締役

酒類販売業

浜崎酒販(株)

TEL ㊟ 4051



### 平野之致

- (2) 昭和6年3月24日
- (3) 鳥取市新品治町123  
T ㊟ 2580
- (4) 規民枝
- (5) 常務取締役

食品卸、小売業

株式会社 ケンパン

TEL ㊟ 代 1081



福田 義信

- (2) 昭和7年3月28日
- (3) 鳥取市東町2丁目222  
T ㊚ 2616
- (4) みどり
- (5) 自由業

司法書士

福田司法事務所

TEL ㊚ 2616



福田 洋一郎

- (2) 昭和17年6月3日
- (3) 鳥取市元魚町2の213  
T ㊚ 2953
- (4) 友美
- (5)

酒類販売業

福田 酒 店

TEL ㊚ 2953



細川 清一郎

- (2) 昭和9年1月26日
- (3) 鳥取市湯所2丁目  
T ㊚ 1777
- (4) 喜代
- (5) 支社長

生命保険業

東邦生命保険相互会社

TEL ㊚ 0801



本田 博

- (2) 昭和13年9月28日
- (3) 鳥取市二階町1の203  
T ㊚ 4078
- (4) 信子
- (5) 代表取締役

塗料販売業

(有)木村塗料商会

TEL ㊚ 4078



松浦 寛

- (2) 昭和4年12月25日
- (3) 鳥取市二階町3丁目41  
T ㊚ 4016
- (4)
- (5) 専務取締役

家具製造業

鳥取家具工業(株)

TEL ㊚ 2461

 <p><b>前川 清治</b></p> <p>(2) 昭和9年6月4日  (3) 鳥取市東町3-180  T ㉔ 5873  (4) 美子  (5) 工場長</p>	<p>繊維製品二次加工</p> <p><b>鳥取エフワン(株)</b></p> <p>TEL ㉔ 7221</p>
 <p><b>三谷 守</b></p> <p>(2) 昭和4年6月14日  (3) 鳥取市吉岡温泉町657  T 2  (4) 洋子  (5) 代表取締役</p>	<p>旅館業</p> <p><b>(有) 三谷旅館</b></p> <p>TEL (吉岡) 2</p>
 <p><b>三宅 金延</b></p> <p>(2) 昭和5年11月22日  (3) 鳥取市東品治町114  T ㉔ 2947  (4) 英佐子  (5) 代表取締役</p>	<p>衣料品販売</p> <p><b>株式会社 みつかね</b></p> <p>TEL ㉔ 2047</p>
 <p><b>三枝 康範</b></p> <p>(2) 昭和9年1月7日  (3) 鳥取市片原1丁目121  T ㉔ 3730  (4) 玲子  (5) 次長</p>	<p>金融機関</p> <p><b>鳥取信用金庫</b></p> <p>TEL ㉔ 4211</p>
 <p><b>森田 一郎</b></p> <p>(2) 昭和4年4月10日  (3) 八頭郡船岡町大字船岡441  T 郡家㉔0002  (4) 富士子  (5) 専務取締役</p>	<p>清酒製造業</p> <p><b>株式会社 森田酒造場</b></p> <p>TEL 丹比64 (八東パラス)</p>



森 下 耀 雄

- (2) 昭和6年2月3日
- (3) 鳥取市戎町119  
T ㊚ 6186
- (4) 春 子
- (5) 専務取締役

暖房設備、厨房設備

株式会社 森下久平商店

TEL ㊚ 6186 代



森 亮 輔

- (2) 昭和10年1月21日
- (3) 鳥取市寿町502  
T ㊚ 5794
- (4) 千 鶴
- (5) 歯科国保組合理事

歯 科 医 師

森 歯 科 医 院

TEL ㊚ 5794



山 本 富 二

- (2) 昭和4年3月31日
- (3) 鳥取市上魚町11  
T ㊚3522・7331
- (4) 秋 子
- (5) 社 長

電化製品販売

マ ツ ヤ サ ン ョ ー

TEL ㊚3522・9331



山 本 良 二

- (2) 昭和4年12月12日
- (3) 岩美郡岩美町岩井536  
T ㊚ 1515
- (4) 治 代
- (5) 役 員

旅 館

(株) 明 石 家

TEL ㊚ 2485



山 家 哲 彦

- (2) 昭和7年7月25日
- (3) 鳥取市二階町1丁目  
222  
T ㊚ 2485
- (4) 喜 子
- (5) 代表取締役

事務用家具販売

(有) ヤ マ ガ 家 具 店

TEL ㊚ 2485



### 山名利和

- (2) 昭和10年12月16日
- (3) 鳥取市行徳は414  
T ㊚ 3213
- (4) 高子
- (5) 専務取締役

ゴム皮革履物卸売業

### 有限会社 山名商店

TEL ㊚ 2664



### 山根常愛

- (2) 昭和11年4月15日
- (3) T青谷㊚0730
- (4) いすゞ
- (5) 専務取締役

酒造業

### 有限会社 山根酒造場

TEL 青谷㊚0730



### 米沢安民

- (2) 昭和5年2月23日
- (3) 鳥取市茶町410  
T ㊚ 4338
- (4) 保子
- (5) 代表取締役

塗料、接着剤、ウレタンフォーム、化粧板販売

### (株) 米沢安吉商店

TEL ㊚ 1431



### 米原正博

- (2) 昭和7年7月30日
- (3) 鳥取市東町2丁目  
341の1  
T ㊚ 0535
- (4) 容子
- (5) 取締役社長

運輸業

### 日ノ丸ハイヤー (株)

TEL ㊚ 7362・8463



### 吉原勝己

- (2) 昭和12年3月11日
- (3) 鳥取市青葉町3丁目  
161の3
- (4) 弘美
- (5) 鳥取営業所長

### 東急観光鳥取営業所

TEL ㊚2001~2



吉田 幹 男

- (2) 昭和12年6月29日
- (3) 鳥取市上町65  
T ㊟ 6211
- (4) 茅穂子
- (5) 代表取締役社長

木材販売建築請負業

有限会社 吉田材木店

TEL ㊟ 2427



涌本 祐之

- (2) 昭和11年6月26日
- (3) 鳥取市吉方520  
T ㊟ 4426
- (4) 美弥子
- (5) 常務取締役

通運業、一般路線運送業

一般区域自動車運送業、倉庫業

因伯通運 KK

TEL ㊟ 代 3101

## 鳥取青年会議所特別会員名簿



板倉 国 義

- (2) 大正10年1月26日
- (3) 鳥取市戎町475
- (4)
- (5) 専務取締役

家具、貸衣裳

株式会社 ウ シ オ

TEL ㊟ 1301



石黒 松 雄

- (2) 大正12年1月29日
- (3) 鳥取市賀露町1042  
T ㊟ 0012
- (4) 美智子
- (5) 専務取締役

鳥取造船工業株式会社

TEL ㊟ 2671





小 田 信 夫

- (2) 大正13年10月17日
- (3) 鳥取市西町3丁目117の4  
T ㊚ 3168
- (4) 寿子
- (5) 院長

医 師

小 田 小 児 科 医 院

TEL ㊚ 3168



金 田 文 夫

- (2) 大正10年1月3日
- (3) 鳥取市上町24  
T ㊚ 2615
- (4) 寿美枝
- (5) 理事長取締役社長

鳥 取 県 東 部 自 動 車 学 校

東 部 振 興 株 式 会 社

TEL ㊚ 7207  
㊚ 3111



梶 田 真 輔

- (2) 大正14年11月6日
- (3) 鳥取市東吉成はの6号
- (4) 美代子
- (5) 支店長

金 融 機 関

鳥 取 信 用 金 庫 智 頭 支 店

TEL 智頭㊚0644



亀 井 康 孝

- (2) 昭和2年8月7日
- (3) 鳥取市西町1の203  
T ㊚ 8010
- (4) 美 恵
- (5) 専 務

製 パ ン

(有) 亀 井 堂

TEL ㊚ 8010



小 谷 種 夫

- (2) 昭和2年7月8日
- (3) 鳥取市吉方256  
T ㊚ 3311
- (4) 悦子
- (5) 常 務

旅 館 業

小 錢 屋

TEL ㊚ 3311



### 近藤 弘 司

- (2) 大正12年3月31日
- (3) 鳥取市今町1丁目172
- (4) 貞子
- (5) 取締役社長

電気機械販売・冷暖房工事施工

### 大成電機工業株式会社

TEL ㊚ 8 2 2 1



### 坂尾 裕 正

- (2) 大正13年6月12日
- (3) 八頭郡八東町才代  
T八頭16・8480
- (4) 弥恵子
- (5) 八東森林組合長理事  
財団法人恩齊社造林  
部長

農 林 業

### 八東林業合資会社

TEL 八頭616・8470



### 島 田 穰

- (2) 大正15年7月22日
- (3) 鳥取市元町320の2  
T ㊚ 2587
- (4) 富士子
- (5) 代表取締役

紙及紙加工品卸商

### 山野商事株式会社

TEL 代 ㊚ 3185



### 寺 沢 俊 雄

- (2) 大正12年1月1日
- (3) 境港市大正町164の2  
T境港㊚2356
- (4) 礼子
- (5) 支店長

銀 行 業

### 山陰合同銀行 境支店

TEL 境港㊚2161



### 武 田 吉 造

- (2) 昭和3年1月1日
- (3) 八頭郡若桜町湯原  
T 若桜 220
- (4) 恭子
- (5) 収入役

### 若 桜 町 役 場

TEL 若桜 1 6 0



土 家 巖

- (2) 大正13年6月25日
- (3) 岡山市北方西本町12  
12の5  
T岡山㊟2665
- (4) 幸 子

民 芸 割 烹

賀 茂 鶴



中 川 清 路

- (2) 大正15年4月26日
- (3) 鳥取市相生町1丁目  
302
- (4) 喜美子
- (5) 会社役員

酒造業キリンビール特約店

中川酒造合名会社



梨 原 巖

- (2) 昭和3年10月1日
- (3) 鳥取市湯所町1丁目  
536の1  
T ㊟ 3490
- (4) 和 子
- (5) 代表取締役

新聞販売他

鳥 取 読 売

TEL 代 ㊟ 1831



橋 本 博 夫

- (2) 大正15年1月22日
- (3) 鳥取市職人町36  
T ㊟ 4286
- (4) 智都恵
- (5) 取締役社長

呉服販売業

(株) 橋本呉服店



松 下 弘

- (2) 大正15年1月9日
- (3) 鳥取市元魚町1の203
- (4) 美代子
- (5) 専務取締役

総合印刷業

中央印刷株式会社

TEL ㊟ 1811



山 根 幸 男

- (2) 昭和2年1月17日
- (3) 鳥取市西今在家67~  
2
- (4) 満智子
- (5) 専務取締役

マツダ自動車販売修理

鳥取マツダ自動車(株)

TEL (代) ㊚ 7211



山 根 秀 治

- (2) 昭和3年3月15日
- (3) 鳥取市吉方3区260  
T ㊚ 5231
- (4) 浩子
- (5) 営業部次長

銀行業

鳥取銀行本店

TEL ㊚ 8181



山 村 明

- (2) 昭和3年3月3日
- (3) 鳥取市吉方203
- (4) 美恵子
- (5) 専務取締役

自転車、オートバイ卸

株式会社 武田商会

TEL ㊚6103~5



由 谷 圭 介

- (2) 昭和3年9月17日
- (3) 鳥取市川端4丁目129  
T ㊚ 2916
- (4) 淑子
- (5) 店主

酒類販売業

由 谷 商 店

TEL ㊚ 2916

## 編 集 後 記

鳥取JC10年の歩み、その業績をこの記念誌に盛り、泉のように続いてゆく『あすのJC』への指針ともなれば幸甚と記念誌実行委員会のメンバー一同力を尽くしたつもりであるが、未熟の域を脱せず、その意を尽くし得なかったことをおわび申し上げます。

編さんに当っての基本構想として、どなたにも楽しく見て載けるべく、視覚に訴える写真特集にしたいと考え、メンバー多数の方々のアルバムから10年の歩みを残す写真の色々を持ち出して頂いたが、まだまだ満足がゆかなかったことを思うとき、写真と云わず、記録、資料の保存がいかに大切かを痛感した。若い力を結集し、『明るい豊かな地域社会を築き上げよう』と云う我々鳥取JCの姿が幾らかでも浮んでおれば幸いである。

石破県知事をはじめ各方面からの祝辞をいただいたことを厚く御礼申し上げます。

製作にあたって、商議所の宮中さん、日本海新聞の下田記者、写真の佐野さんには特別の御世話をかけました。末筆になりましたが、尾崎画伯には五周年誌に続いての装幀、心よくお引受けいただきまして誠にありがとうございました。

10周年記念誌実行委員長

辻 敏 治

10周年記念誌実行委員会

委員長	辻	敏	治	委	員	中	井	晋		
副委員長	潮	巽	市	”	森		亮	輔		
”	玉	木	久	夫	”	前	川	清	治	
”	山	根	常	愛	”	尾	崎	良	一	
委	員	佐	野	幸	男	”	安	部	誠	吉
”	古	寺	善	三	”	縫	谷	昌	生	

祝

鳥取 J C 10 周年

協賛広告

順不同

スカットさわやかコカ・コーラ



山陽コカ・コーラボトリング株式会社

鳥 取 営 業 所

所長 金田 勝太郎

鳥取市安長393 TEL(代)23-3607



美と技術で

くらしに花をそえる

# 鳥取三洋電機株式会社

取締役社長 井植 歳 男

本社・無線事業部 鳥取市立川町五丁目三ノ一

電話(代)㉓二八八一番

機器事業部・電器事業部 鳥取市吉方一四

電話(代)㉓一二一一番



鉄のデパート



株式  
会社

濱崎芳雄商店

代表取締役専務 濱崎 芳宏

常務取締役 濱崎 泰三

取締役総務部長 濱崎 貢三

本店 鳥取市川端四丁目 TEL②③二〇二一

倉吉支店 倉吉市昭和町 TEL②二二六八

米子支店 米子市上後藤 TEL②二二一五

ご家族そろって  
楽しめる  
ボーリング！



## 鳥取レクリエーションセンター

代表取締役 米原 正博

代表取締役 濱崎 芳宏



### 鳥取ボウリンク

鳥取市富安 TEL225756

### 倉吉ボウリンク

倉吉市宮川町 TEL(2)5602

### 米子ボウリンクセンター

米子市皆生 TEL(2)2058

# 東京通商産業局長賞受賞!!

全国ツキ板連合会ツキ板賞

No. 102 エルム

新発売!!

ハイバック  
ダイニングチェア



高度な曲ゲ木技術  
すぐれた品質とデザイン

## 鳥取家具工業株式会社

本 社	鳥 取 市 富 安 6 6	TEL②3 2 4 6 1 代
東 京 営 業 所	東 京 都 新 宿 区 須 賀 町 6 近 岡 ビ ル	TEL 0 3 (351) 3 4 9 3
大 阪 営 業 所	大 阪 市 北 区 壺 屋 町 2 の 28 新 千 代 田 ビ ル	TEL 0 6 (352) 0 6 2 1 代
名 古 屋 営 業 所	名 古 屋 市 中 区 東 陽 町 6 の 3 1	TEL 0 5 2 (261) 9 6 7 7

建築金物



- ◆ フロアーヒンヂ
- ◆ ドアチエック
- ◆ ピボットヒンヂ
- ◆ オート・ドア

工作機

- ◆ フライス盤 (MR-2MOL)

紡機

- ◆ 混打綿機
- ◆ その他繊維機械



# 大鳥機工株式会社

取締役社長 山根 四郎

本社工場 鳥取市富安74の1

TEL(代) (22) 2201

大阪営業所 大阪市北区富田町40 新日清ビル7階

TEL (361) 5593

東京営業所 東京都千代田区外神田2丁目 万世共同ビル1階

TEL (255) 7971

出張所 福岡・広島・名古屋・仙台・札幌

通 運 事 業  
倉 庫 事 業  
一般区域貨物運送事業

# 運 因伯通運株式会社

代表取締役 涌 本 忠 彦

本 社 鳥 取 市 行 徳 は 2 0 5 番 地  
支 店 鳥 取 ・ 米 子 ・ 倉 吉 ・ 境 港  
営 業 所 鳥 取 駅 前 ・ 上 井 ・ 西 倉 吉 ・ 後 藤 ・ 大 阪



## F. ONE men's suits

エフワン 株式会社  
エフワン 商事株式会社  
エフワン 鳥取工場



# 日本フエライト工業株式会社鳥取工場

取締役社長 国岡次郎

常務取締役  
工場長 福島昌

鳥取工場 鳥取市岩倉102番地  
電話(代)22-5101

パン・うどん・菓子・冷菓酒造用原材  
料・集団給食用物資・雪印アイスクリー  
ム・養鶏飼料薬品・精肉・ブロイラー

株式  
会社 **ケンパン**

鳥取市今町2丁目212 TEL(代)23-1081

倉吉営業所 倉吉市東仲町2605 TEL(代)2-6318

より確かな車選びの規準はなにか!?

新型セドリック



より豪華で充実した  
ブルーバードシリーズ

**NISSAN** 鳥取日産自動車販売株式会社

本社 米子市富士見町二丁目180 電 08592-2-5145  
鳥取営業所 鳥取市吉方278 電 0857-22-8344  
倉吉営業所 倉吉市八屋225の5 電 08582-2-6238

## 自動車の民間車検場

- どこよりも早く、安く、確実な整備
- 軽整備から钣金、塗装までの総合修理工場



運輸省第一種優良認定・広島陸運局指定

東部振興株式会社 **東部カードック**

鳥取市田島292 TEL(23)-3111(代)

## 運転免許



- よい車、親切な個人指導
- よい施設、確実な全員合格

県公安委員会・広島陸運局指定

鳥取県 **東部自動車学校**

鳥取市田島268 TEL(22)-7207(代)

いこいのひとゝきを  
よりのしく……



山陰放送



●テレビ			
江	JOHF-TV	10ch	
松	JOHF-TV	1ch	
大	JOHF-TV	5ch	
浜	JOHF-TV	11ch	
掛合・吉田	JOHF-TV	10ch	
川	JOHF-TV	1ch	
石	JOHF-TV	1ch	
仁	JOHF-TV	1ch	
多			
●ラジオ			
米子・益田	JOHF	900kc	
鳥取	JOHF	1560kc	
浜	JOHM	1120kc	

本社	米子市西福原423 (皆生通り)	電代	米子(2) 2141
東京支社	東京都中央区銀座西6の3	朝日ビル本館3階	電代(571) 4552
大阪支社	大阪市北区中之島3の3	朝日ビル4階	電代(231) 6960
鳥取支社	鳥取市今町2の152	大丸ビル3階	電代(鳥取)㉓3900
松江支社	松江市殿町386	三喜ビル2階	電代(松江)(2)4306
広島支局	広島市東胡町4	三宅ビル3階	電代(広島)(4)9321
浜田支局	浜田市大字熱田1001の2		電代(浜田) 1652



## 鳥取マツダ自動車株式会社

鳥取市今町2丁目 電話代表㉓7221

丸山営業所 丸山三叉路 電話 ㉓ 8623  
 浦安営業所 浦安駅前 電話東伯㉓2281  
 智頭営業所 八頭郡智頭町 電話 ⑤ 0578  
 郡家営業所 八頭郡郡家町 電話 ② 0522  
 丸山中古車センター  
 駅南中古車センター

倉吉マツダ販売(有)  
 倉吉市伊木町 電話 ② 5185



ファミリア ロタリーSS



山林経営・針広葉樹素材販売  
製材一般建築用材・チップ



# 八東林業合資会社

社長 坂尾 正巳  
専務 坂尾 裕正

八頭郡八東町岩淵  
電話（八頭）085884-8470

**アサヒビール**  
**サントリービール**  **特約店**

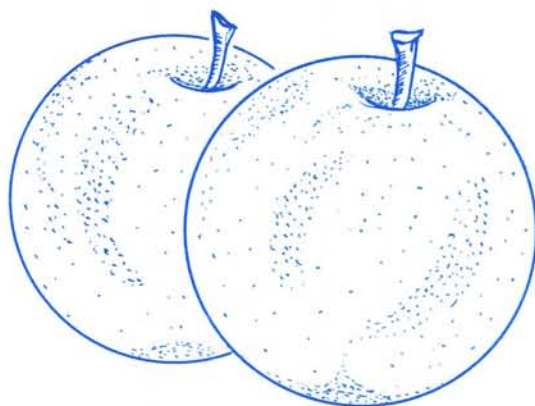
全酒類卸問屋  
株式会社 **古寺商店**

鳥取市青葉町1丁目215 TEL(22)代4111

# \* 味覚の王者…

## 20世紀梨

(トリカネクター)



鳥取県果実農業協同組合連合会

会長 秋久 勲

# お買物は大丸へ!



鳥取 大丸

鳥取駅前 電話代②2251

 郷土と共に歩む

日ノ丸自動車株式会社

本社 鳥取市今町2丁目 TEL(22)5151



Nihon Kotsu

急行バス(大阪—米子)

観光バス

路線バス

ハイヤー

食堂

日本交通株式会社

本社 鳥取市吉方797の5 TEL大代② 1121  
鳥取本社営業課 TEL代② 3126  
上井営業所 倉吉市上井町1丁目11 TEL ② 6111  
米子営業所 米子市角盤町4丁目90 TEL ② 3131

---

1969年9月27日発行

鳥取市本町3丁目102

発行 鳥取青年会議所

編集責任者 辻 敏治

印刷 中央印刷株式会社

---



# 鳥取青年會議所

鳥取市本町3丁目商工会館内

「木喰仁王像」

尾崎悌之助画